



IBM USB 2.0 Memory Keys

User's Guide



IBM USB 2.0 Memory Keys

User's Guide

First Edition (October 2004)

© Copyright International Business Machines Corporation 2004. All rights reserved.

目次

まえがき	v
製品の登録	v
第 1 章 概要	1-1
第 2 章 メモリー・キーを Windows 2000 または Windows XP にインストールする	2-1
第 3 章 MyKey	3-1
システムのセットアップ	3-1
MyKey のカスタマイズ	3-2
オプションの設定	3-3
Select your language (使用言語を選択)	3-4
Hide/Show (非表示/表示)	3-4
Help (ヘルプ)	3-4
About (バージョン情報)	3-4
Exit (終了)	3-4
MyKey ポップアップ・メッセージ	3-5
メモリー・キー・コンソール	3-5
LCD	3-5
ボタン	3-6
メモリー・キーの個人情報設定	3-7
MyKey personal icon (MyKey 表示アイコン)	3-7
MyKey Personal Sound (MyKey サウンド)	3-8
MyKey Personal Label (MyKey 表示ラベル)	3-8
Memory Key version (メモリー・キー・バージョン)	3-8
拡張機能	3-8
Enable Write Protection (書き込み保護を使用可能に設定する)	3-9
同期化オプション	3-9
個人フォルダーの作成	3-11
追加機能	3-12
メモリー・キー・ドライブに送る	3-12
自動実行	3-12
問題判別	3-13
よく尋ねられる質問 (FAQ)	3-14
第 4 章 マルチリンガル KeySafe II の使用	4-1
システム要件	4-1
始めに	4-1
プライバシー・ゾーンの作成	4-1

プライバシー・ゾーンの使用	4-3
プライバシー・ゾーンとシステムのサスペンド/ハイバネーション	4-5
プライバシー・ゾーンからのログアウト	4-5
信頼オプション	4-6
設定のカスタマイズ	4-7
デスクトップ	4-8
パスワードの変更	4-8
プライバシー・ゾーンの変更	4-11
よく尋ねられる質問	4-11

第 5 章 非管理者モードの KeySafe II と MyKey	5-1
システム要件	5-1
インストール手順	5-1
サービスのアンインストール	5-1

第 6 章 IBM メモリー・キー・ブート・ユーティリティ	6-1
システム・セットアップの要件	6-1
IBM ブート・メモリー・キーの作成	6-1
コンピューターを IBM メモリー・キーを使用してブートする	6-3
問題判別	6-3

付録 A. サービスおよびサポート	A-1
オンライン・テクニカル・サポート	A-1
テレホン・テクニカル・サポート	A-1

付録 B. 「IBM の保証の内容と制限」 Z125-4753-08 04/2004	B-1
第 1 章 - 共通条項	B-1
第 2 章 - 各国固有の条項	B-4
第 3 章 - 保証情報	B-15
保証サービスの種類	B-16
Guarantee supplement for Mexico	B-20

付録 C. Guarantee supplement for Mexico	C-1
--	------------

付録 D. Notices	D-1
Trademarks	D-2
Federal Communications Commission (FCC) statement	D-2

まえがき

本書には、IBM® USB 2.0 高速メモリー・キーのインストール方法と使用法が記載されています。

この製品のパッケージには、以下の品目が含まれています。

- IBM USB 2.0 高速メモリー・キー
- *IBM USB 2.0 Memory Key CD*
- *クイック・スタート・ガイド*

これらの品目のいずれかが足りないか破損している場合は、購入先に連絡してください。ご購入を証明する書類を保存しておいてください。保証サービスを受ける際に必要となる場合があります。

このユーザーズ・ガイド は、次の言語に翻訳されて、*IBM USB 2.0 Memory Key CD* に入っています。

- ブラジル・ポルトガル語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 中国語 (簡体字)
- スペイン語
- 中国語 (繁体字)

製品の登録

このたびは、IBM 製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の製品を登録して、将来のよりよいサービスのためにお客さまの情報を IBM にご提供ください。お客さまとのコミュニケーションをはかるだけでなく、お役に立つ製品やサービスを開発する上で、お客さまのご意見は大変貴重です。次の IBM Web サイト (英語) に、ご使用の製品を登録してください。

<http://www.ibm.com/pc/register/>

Web サイトで IBM からの通知が不要であると指示しない限り、ご登録いただいた製品についての情報およびアップデートを IBM からお送りします。

第 1 章 概要

IBM USB 2.0 メモリー・キーは、小型のポータブル USB ストレージ・デバイスです。このメモリー・キーにより、USB ポートが利用できるノートブックおよびデスクトップ・コンピューター間で、ディスクレットを使用せずにデータを共有できます。メモリー・キーには、1.44 MB ディスクレットよりもはるかに大きなスペースがあるので、テキスト、プレゼンテーション、スプレッドシート、マルチメディア・ファイルなどを保管できます。

本書では、Microsoft® Windows® 2000 Professional、および Windows XP の各オペレーティング・システムにおける IBM USB 2.0 メモリー・キーのインストール方法と使用法を説明します。

第 2 章 メモリー・キーを Windows 2000 または Windows XP にインストールする

IBM USB 2.0 メモリー・キーをインストールする前に、次のソフトウェアとハードウェアの環境を確認してください。

- 次のオペレーティング・システムのうちの 1 つ:
 - Windows 2000
 - Windows XP
- 使用可能な USB コネクタ
- Pentium II 266 MHz
- 1.7 MB の空きディスク・スペース
- メイン・ドライブ (通常はドライブ C) へのアクセス手段

メモリー・キーをブート可能デバイスとして使用する場合は、次の品目が必要です。6-1 ページの『第 6 章 IBM メモリー・キー・ブート・ユーティリティー』を参照してください。

- ブート可能 USB ストレージ・デバイスをサポートする BIOS。BIOS がブート可能 USB デバイスをサポートしているかどうか確かでない場合は、ご使用のコンピューターのメーカーにお問い合わせください。更新が利用できる場合があります。
- コンピューターに付属の BIOS 説明書または、該当する場合は BIOS 更新。

Windows 2000 および Windows XP には、USB 2.0 メモリー・キー用の組み込みサポートがあり、デバイス・ドライバーは不要です。メモリー・キーを USB コネクタに接続してください。メモリー・キーはこれで使用でき、リムーバブル・ディスクとして文字指定 (たとえば、E:) とともに表示されます。

第 3 章 MyKey

MyKey を使用して、メモリー・キー・コンソールからメモリー・キーにアクセスし、カスタマイズすることができます。メッセージとプロンプトに従って、MyKey のインストール、使用、およびカスタマイズ手順を短時間に行えます。これにより、メモリー・キーをさらに自分用にカスタマイズされた使い勝手の良いものにすることが可能です。この章には、よく尋ねられる質問 (FAQ) とそれに対する回答も記載されています。

MyKey アプリケーションは、管理者モードと非管理者モードで動作します。詳しくは、5-1 ページの『第 5 章 非管理者モードの KeySafe II と MyKey』を参照してください。

最大限の性能を得るために、メモリー・キーは、24 ビット・カラーをサポートするグラフィック・アクセラレーターを使用します。

システムのセットアップ

MyKey をインストールして使用するには、ご使用のコンピューターが次の要件を満たしていなければなりません。

- Pentium[®] II 266 MHz
- 1.7 MB の空きディスク・スペース (ドライブ C 上)
- オペレーティング・システム: Windows 2000 または Windows XP

IBM 2.0 メモリー・キーは、MyKey をサポートしています。ご使用のメモリー・キーが MyKey をサポートする場合は、最新バージョンの MyKey を用意してください。MyKey の最新バージョンは、<http://www.ibm.com/pc/support> (英語のサイトです) からダウンロードできます。「USB 2.0 Memory Key」を検索してください。

MyKey のインストール手順は、次のとおりです。

1. メモリー・キーに付属の *IBM USB 2.0 Memory Key CD* を挿入して、「Software」フォルダーを開きます。
2. 「MyKey」アイコンをダブルクリックします。
3. デスクトップに MyKey へのショートカットを作成したい場合は、「Welcome (ようこそ)」ウィンドウで「**Create Desktop Shortcut (デスクトップ・ショートカットの作成)**」チェック・ボックスを選択します。MyKey および Uninstall MyKey へのショートカットは、「スタート」メニューで自動的に作成されます。MyKey の使用を開始するには「**Finish (完了)**」をクリックします。インストールを中止するには「**Cancel (キャンセル)**」をクリックします。

注: デフォルトでは、MyKey は Windows の始動時に自動的に始動します。このオプションは、「設定」ウィンドウで使用不可にすることができます。



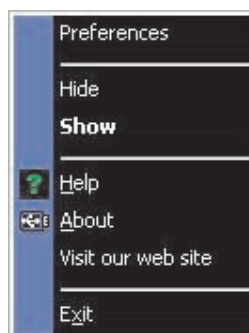
デスクトップ下部のシステム・トレイ内のクロックの隣に「MyKey」アイコンがすぐに追加されます。このアイコンを利用すれば、すべての MyKey 機能に最も簡単に素早くアクセスできます。



MyKey をアンインストールするには、「スタート」→「プログラム」→「MyKey IBM 」→「Uninstall MyKey IBM (MyKey IBM のアンインストール)」をクリックします。

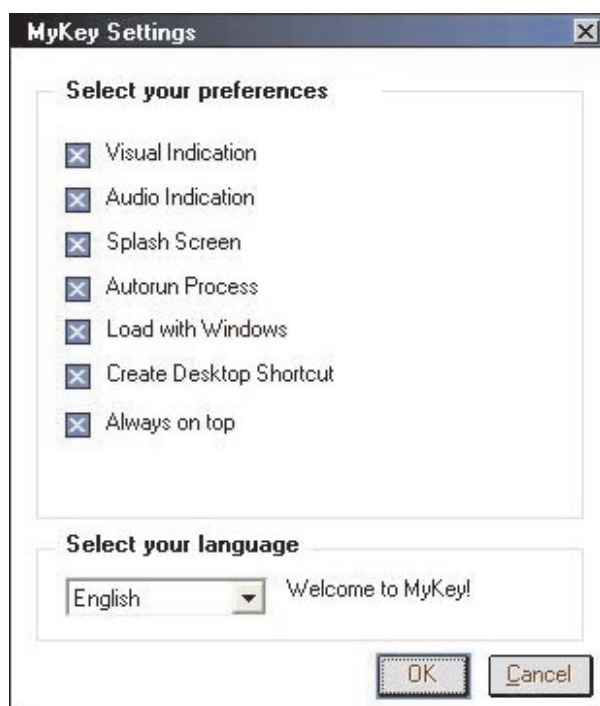
MyKey のカスタマイズ

MyKey 機能にアクセスするためのメインメニューを開くには、タスクバーの「MyKey」アイコンを右マウス・ボタンでクリックします。ここでは、メニュー・オプションについて説明します。



オプションの設定

MyKey のオプションを設定するには、「**Preferences (環境設定)**」をクリックします。各オプションをクリックして、使用可能/使用不可にします。



Visual indication (ウィンドウ表示)

このオプションは、メモリー・キーをコンピューターの USB コネクタに挿入するたびにメモリー・キー・コンソールを表示します。

Audio indication (イベントサウンド)

メモリー・キーをコンピューターの USB コネクタに挿入するたびに、この音が鳴ります。

Splash screen (起動画面)

MyKey のロード中、この画面が表示されます。

Autorun process (オートラン処理)

この処理により、CD の自動実行と同じように、メモリー・キー内に設定されている自動実行命令に従ってアプリケーションが自動的に開始されます。拡張自動実行機能については、3-12 ページの『追加機能』を参照してください。

Load with Windows (Windows 起動時にロードする)

このオプションは、Windows の始動時に MyKey を始動します。この機能を使用不可にした場合、Windows の「スタート」メニューから MyKey を始動する必要があります。

Create desktop shortcut (デスクトップにショートカットを作成)

このオプションは、デスクトップに MyKey ショートカットを作成、またはデスクトップから MyKey ショートカットを除去します。

Always on top (常に手前に表示)

このオプションでは、簡単に素早くアクセスできるように、メモリー・キー・コンソールはすべてのウィンドウの前に表示されます。この機能を使用不可にすると、メモリー・キー・コンソールはアクティブでないときに他のウィンドウの後ろに隠れます。

Select your language (使用言語を選択)

希望する言語を選択するには、次の手順で行います。

1. 希望する言語を選択します。サポートされる言語は、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語、ポルトガル語、中国語 (繁体字または簡体字)、および日本語です。サポートされる言語のみがリストに表示されます。選択した言語が正しく表示されるかは、使用している特定の Windows バージョンと、選択するシステムのロケーション (「コントロール パネル」→「地域」) によります。Windows が選択された言語をサポートしない場合は、言語名ではなく疑問符 (?) が表示されます。
2. 言語選択リストの横に表示されるウェルカム・メッセージを読めるか確認してください。メッセージを読める場合は、「OK」をクリックして言語変更を実行します。すべての画面ショットとテキストは、選択した言語に従って変更されず。

Hide/Show (非表示/表示)

メモリー・キー・コンソール・ディスプレイをオフにする、または表示するには、「Hide (非表示)」または「Show (表示)」をクリックします。

Help (ヘルプ)

このオプションは、メモリー・キーとそのアプリケーションに関する情報を検索できる IBM サポート・サイトを始動します。

About (バージョン情報)

現行バージョンの情報を提供します。

Exit (終了)

MyKey を終了すると、メモリー・キーのクイック・アクセスと拡張機能が使用不可になります。

MyKey ポップアップ・メッセージ

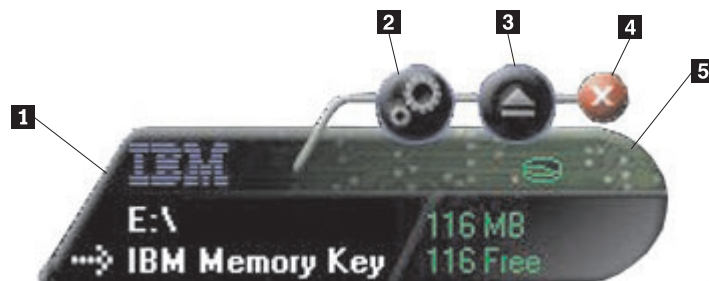
MyKey は、次の図のようなポップアップ・メッセージを使用して情報を提供したり、メモリー・キーのイベントを通知したりします。この種類のメッセージは数秒後に自動的に消えます。クリックして、即時に閉じることもできます。



メモリー・キー・コンソール

メモリー・キー・コンソールを使用すると、メモリー・キーにアクセスしてファイルの保管や検索を行ったり、アプリケーションを開始したり、メモリー・キーをカスタマイズしたりすることができます。

メモリー・キー・コンソールには、メモリー・キーのロゴ、ご使用のメモリー・キーのドライブ名、およびメモリー・キー・ラベルが表示されます。個人用のアイコンまたはラベルを使用してこの表示を変更するには、3-7 ページの『MyKey personal icon (MyKey 表示アイコン)』を参照してください。メモリー・キー・コンソールを移動させるには、メモリー・キー・コンソール上で左マウス・ボタンをクリックして押し下げたまま、メモリー・キー・コンソールを別の場所にドラッグし、左マウス・ボタンを放します。



- 1 Browse (参照)
- 2 Tools (ツール)
- 3 Eject (イジェクト)

- 4 Close (閉じる)
- 5 LCD

LCD

液晶ディスプレイ (LCD) に、ご使用のメモリー・キーの容量とフリー・スペースの合計が表示されます。ディスク・スペース全体の 5% 以下が空き状態だと、フリー・スペース・インディケーターが赤になります。

プライバシー・ゾーン表示

この LCD (次の図に示す) は、KeySafe II を使用してプライバシー・ゾーンにログインしているかどうかを示します。



書き込み保護表示

この LCD (次の図に示す) は、メモリー・キーが書き込み保護されているかどうかを示します。書き込み保護の詳細については、3-9 ページの『Enable Write Protection (書き込み保護を使用可能に設定する)』を参照してください。



ボタン

メモリー・キー・コンソールには、次のボタンがあります。

Tools (ツール)

「Tools (ツール)」ボタンをクリックすると、メモリー・キー・コンソール・メニューが開きます。このメニューには、メモリー・キー・コンソールの設定 (3-5 ページの『メモリー・キー・コンソール』を参照)、拡張機能 (同期化など)、および個人フォルダーがあります。

Browse (参照)

このボタンをクリックすると、Windows エクスプローラーでメモリー・キー・ドライブを開いて、すべてのファイル (プライバシー・ゾーン内の保護ファイルと共有ファイルの両方) にアクセスすることができます。

Close (閉じる)

「Close (閉じる)」ボタンをクリックすると、メモリー・キー・コンソールが閉じます。トレイ・アイコンからコンソールが消え、「Exiting Memory Key by Clicking X (X をクリックしたのでメモリー・キー・コンソールを終了します)」というメッセージが表示され、さらにプログラムはタスクバーで実行が継続される旨のメッセージが表示されます。この方法で終了させる時にこのメッセージを表示させたくない

い場合は、チェック・ボックスを選択します。



メモリー・キー・コンソールを再度開くには、アイコンをダブルクリックするか、MyKey メニューで「**Show (表示)**」を選択します (3-2 ページの『MyKey のカスタマイズ』を参照)。

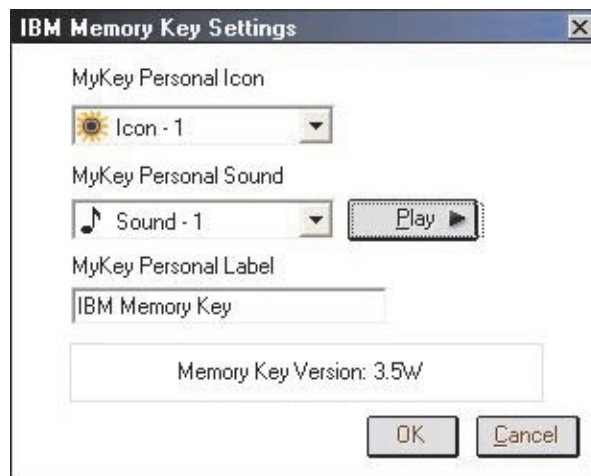
Eject (イジェクト)

「Eject (イジェクト)」ボタンを使用すると、メモリー・キーを取り外す前に、メモリー・キーに保管されているデータすべてを完全に保つことができます。「Eject (イジェクト)」ボタンをクリックして、安全取り外しメッセージが表示されたら、メモリー・キーを取り外します。別の方法として、Windows 2000 と Windows XP 以外のすべてのオペレーティング・システムの場合、トレイ・メニューの中の緑色の矢印を使用してメモリー・キーを安全に取り外すこともできます。

重要: 「Eject (イジェクト)」ボタン、またはトレイ・メニューの緑色の矢印を使用せずにメモリー・キーを取り外すと、データ損失が起こる可能性があります。

メモリー・キーの個人情報設定

メモリー・キーを、独自のアイコン、専用の音、独自のラベルなどで個別設定するには、メモリー・キー・コンソールの「Tools (ツール)」ボタンをクリックして、「**Settings (設定)**」を選択します (3-2 ページの『MyKey のカスタマイズ』を参照)。「Memory Key Settings (メモリー・キー設定)」ウィンドウが開きます。



MyKey personal icon (MyKey 表示アイコン)

デフォルト・アイコンを変更するには、「**MyKey Personal Icon (MyKey 表示アイコン)**」リストを開いて、次のどちらかの手順を利用します。

- MyKey に含まれている 11 個のアイコンの中から 1 つ選択します。
- 作成済みか、もしくは Web からダウンロードしたいファイルを検索して、アイコン・ファイルを選択します。

OK をクリックして、変更を適用します。

注: メモリー・キーが書き込み保護されていると、この操作は失敗します。

MyKey Personal Sound (MyKey サウンド)

デフォルトの音を変更するには、「**MyKey Personal Sound (MyKey サウンド)**」リストを開いて、次のどちらかの手順を利用します。

- MyKey に含まれている 10 種類の音の中から 1 つ選択します。
- 作成済みか、もしくは Web からダウンロードしたいファイルを検索して、異なる音を選択します。「**Play (再生)**」をクリックすると、選択した音を聴くことができます。**OK** をクリックして、変更を適用します。

注: メモリー・キーが書き込み保護されていると、この操作は失敗します。

MyKey Personal Label (MyKey 表示ラベル)

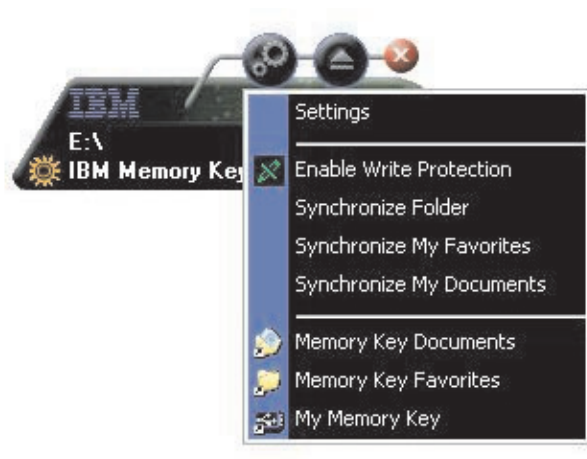
メモリー・キーを個人用化し、内容識別を簡単にするために、ユーザーの名前やカテゴリなどの個人用ラベル (最大 14 文字) を入力して、メモリー・キーの内容を識別できるようにします。

Memory Key version (メモリー・キー・バージョン)

ご使用のメモリー・キーのバージョンが、「Memory Key Preferences (メモリー・キーの設定)」ウィンドウの最後に表示されます。テクニカル・サポートと連絡を取る際に、このバージョン情報が必要です。

拡張機能

MyKey が実行されていると、メモリー・キーを使いやすくする多数の拡張機能を利用できます。「Tools (ツール)」ボタンをクリックして、「**Advanced Features (拡張機能)**」メニューのオプションをクリックします。これらの拡張機能について、これから説明します。



Enable Write Protection (書き込み保護を使用可能に設定する)

セキュリティや統合性が疑わしいコンピューターにメモリー・キーを接続したときに、ウイルスやデータ損失からメモリー・キーを保護するために、MyKey を使用してメモリー・キーを書き込み保護することができます。これにより、保護ファイルの削除、作成、または変更を防ぐことができます。

同期化オプション

MyKey 同期化オプションは、複数のコンピューター間における作業の同期化処理またはファイルのバックアップ処理を高速化し、簡単にします。次の同期化オプションが使用できます。

- **Folder (フォルダーの同期):** すべてのフォルダーとサブフォルダーを同期化します。
- **My Favorites ([お気に入り]の同期):** コンピューターの「My Favorites (お気に入り)」フォルダーと、メモリー・キー上の「Memory Key Favorites (メモリー・キーのお気に入り)」フォルダーの間を同期化します。
- **My Documents ([マイ ドキュメント]の同期):** コンピューターの「マイ ドキュメント」フォルダーと、メモリー・キー上の「Memory Key Documents (メモリー・キー ドキュメント)」フォルダーの間を同期化します。

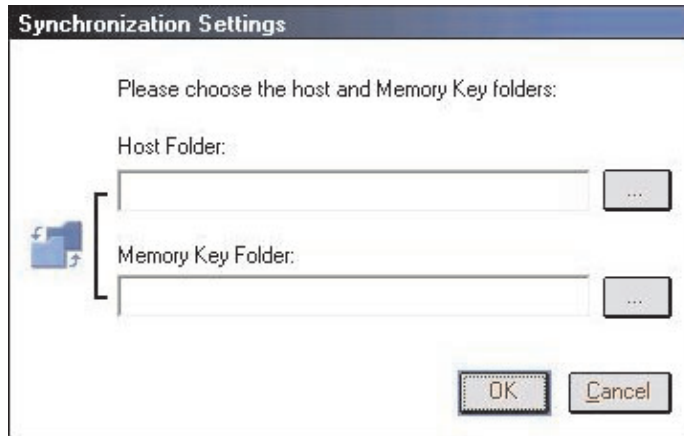
フォルダーを初めて同期化するとき

フォルダーを初めて同期化するときには、次の手順で行います。

1. MyKey コンソールの「Tools (ツール)」メニューで、「**Synchronize Folders (フォルダーの同期)**」を選択します。新規のコンピューターまたは新規のメモリー・キーで初めて同期化機能を使用する場合、「Synchronization Settings (同期の設定)」ウィンドウが開きます。
2. 同期化するフォルダーを選択します。一方のフォルダーは、既存のローカル・フォルダーでなくてはなりません。もう一方のフォルダーは、既存のメモリー・キー・フォルダーでなくてはなりません。

注: これらのフォルダーを初めて同期化するときには、ローカル・フォルダーとメモリー・キー・フォルダーの両方に同一のファイルが存在する場合、MyKey はどちらのファイルが最新版か判断できません。よって、必ず異なるファイル名を割り当ててください。

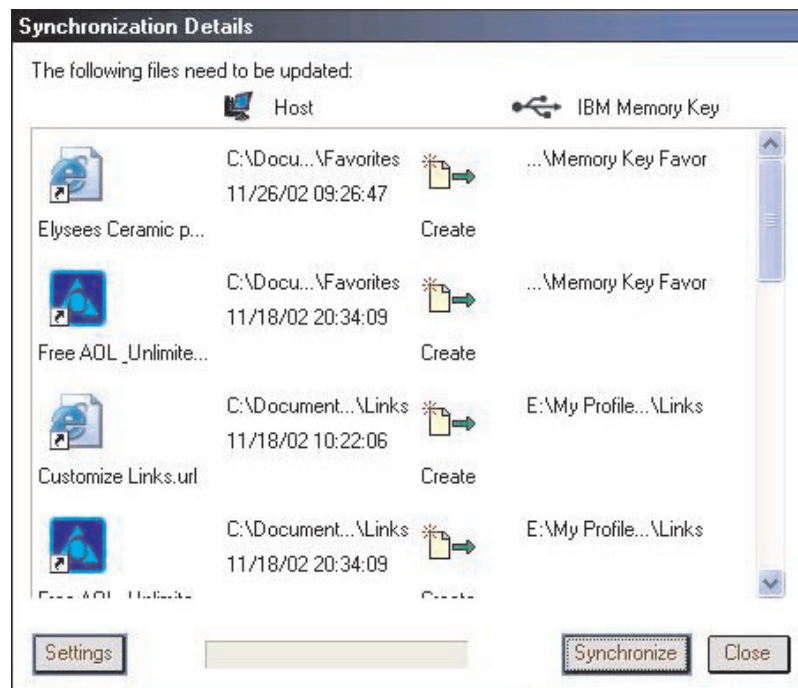
3. 同期化処理を開始するには「**OK**」をクリックします。終了するには、「**Cancel (キャンセル)**」をクリックします。



前に選択したフォルダーを同期化する

同期化するフォルダーを選択した後、以下の手順で行います。

1. **MyKey** コンソールの「**Tools (ツール)**」メニューで、「**Synchronize Folders (フォルダーの同期)**」を選択します。「**Synchronization Details (同期の詳細)**」ウィンドウが開きます。必要なアクションのリストが表示されます。
2. 表示されている設定にアクセスしたり、設定を変更したりするには、「**Settings (設定)**」をクリックします。
3. 「**Synchronize (同期)**」をクリックして、すべてのファイル操作を許可します (リストの一部のみを選択することはできません)。



4. ファイル操作中にエラー・メッセージが表示された場合 (たとえば、ディスクが満杯、パスまたはファイルが無効など) は、「**OK**」をクリックして残りのファイルの同期化を継続するか、「**Cancel (キャンセル)**」をクリックして処理を停止します。

- 同期化の完了を示すメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

フォルダーの同期規則

同期化処理には、次の規則が適用されます。

- **新規ファイル:** いずれかのフォルダー内で新規ファイルを作成した場合に、他のフォルダー (複数可) にも同じファイルを作成できます。
- **削除ファイル:** いずれかのフォルダー内でファイルが削除された場合に、他のフォルダー (複数可) にある同じファイルを削除できます。
- **変更ファイル:** いずれかのフォルダー内でファイルが変更された場合に、他のフォルダー (複数可) にある同じファイルを置き換えることができます。あるファイルがすべてのフォルダーで変更されたら、MyKey によって、いずれの操作も実行せずにこのファイルをスキップすることができます。
- **名前変更ファイル:** ファイルの名前変更は、そのファイルをいったん削除して新規作成することと同じです。このため、削除ファイルの規則が適用されます。

個人フォルダーの作成

個人フォルダーとは、素早く検索できるようにユーザー・ファイルを分類または編成するのに役立つファイル・フォルダーです。個人フォルダーを作成する手順は、次のとおりです。

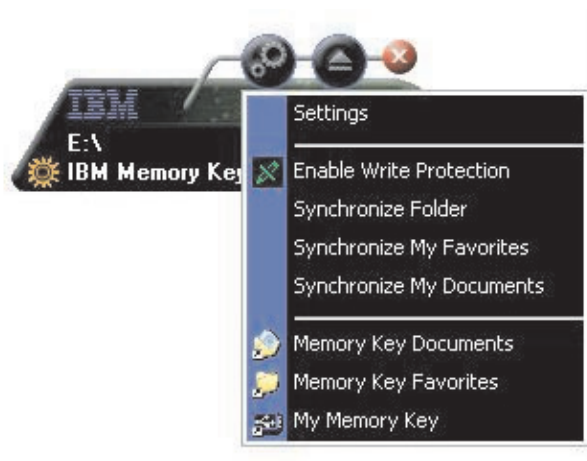
1. 「OK」をクリックして、個人フォルダーの作成を確認します。



以下のディレクトリーが作成されます。

- **My Memory Key (マイ メモリー・キー)** - デスクトップと同様に、頻繁にアクセスする一般ファイルを保管します。
 - **Memory Key Documents (メモリー・キー ドキュメント)** - 「マイ ドキュメント」フォルダーと同様に作業ファイルを保管します。このフォルダーには、Synchronize My Documents ([マイ ドキュメント]の同期) 操作に関連するファイルが保管されます。
 - **Memory Key Favorites (メモリー・キーのお気に入り)** - 「Favorites (お気に入り)」フォルダーと同様に、ユーザーがよく使うファイルを保管します。このフォルダーには、Synchronize My Favorites ([お気に入り]の同期) 操作に関連するファイルが保管されます。
2. 個人フォルダー内のファイルにアクセスするには、次のいずれかの手順を利用してください。
 - Windows エクスプローラの「My Profile (マイ プロファイル)」フォルダーを開きます。

- メモリー・キー・コンソールで「**Tools (ツール)**」をクリックして、ファイルを表示し、アクセスします。

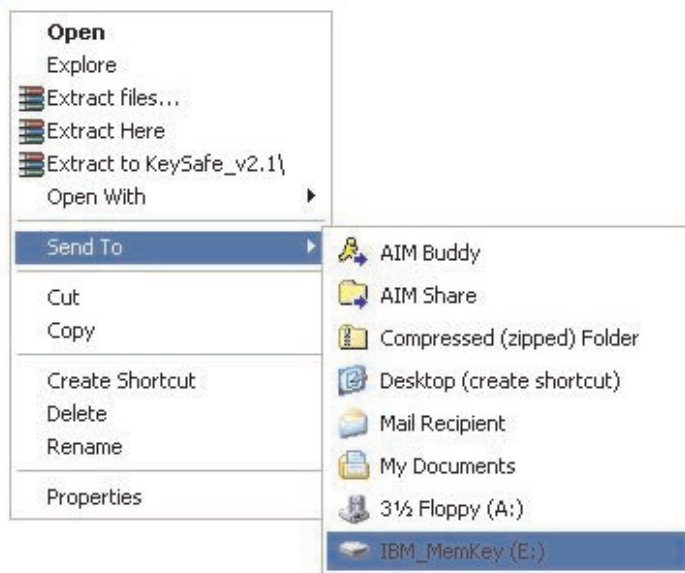


追加機能

MyKey には、さらに以下のような 2 つの追加機能があります。

メモリー・キー・ドライブに送る

指定したメモリー・キー・ドライブが自動的に「送る」メニューに追加されるので、ファイルを右クリックしてメモリー・キー・ドライブに保管できるようになります。



自動実行

MyKey の自動実行機能により、メモリー・キーをコンピューターの USB コネクタに挿入したときに、さまざまな種類のファイル (HTML Web ページなど) を自動的に開始できます。

MyKey は、メモリー・キーの autorun.inf ファイルを実行します。この機能は、「MyKey Settings (MyKey の設定)」ウィンドウで使用不可にすることができます。MyKey の自動実行構文は、CD の自動実行構文とは少し異なり、より幅広い機能があります。

メモリー・キーの自動実行機能を使用するには、次の手順で行います。

1. MyKey の設定の中で、「**auto run process (オートラン処理)**」が選択されていることを確認します。
2. autorun.inf という名前のテキスト・ファイルを作成します。
3. 自動実行機能を使用して Web ページを開くには、次のテキストを autorun.inf ファイルに入力します。

```
[launcher]
```

```
open=www.ibm.com
```

- 自動実行機能を使用してメモリー・キーに保管されているプログラムを実行するには、次のテキストを autorun.inf ファイルに入力します。

```
[launcher]
```

```
open=[filename].exe
```

問題判別

MyKey は、可能であれば次のようにトラブルシューティングのガイドラインの含まれる数種類のメッセージを表示します。

- Fatal error (致命的エラー) - この一般的なエラー・メッセージは、アプリケーションがリカバリーできないようなエラーが起こったことを示します。
- Windows version not supported (Windows のバージョンがサポートされていません) - MyKey をサポートしない Windows バージョンで MyKey を実行しようとすると、このメッセージが表示されます。(3-1 ページの『システムのセットアップ』を参照してください)
- Large fonts (フォントが大きい) - MyKey は小さいフォントを使用するように設計されており、大きいフォントを使用すると適切に表示されない可能性があります。小さいフォントに切り替えるには、「コントロール パネル」を開いて、「画面」→「設定」→「詳細」→「フォント サイズ」をクリックしてください。
- Unable to connect to Memory Key (メモリー・キーに接続できません) - このメッセージは、MyKey がメモリー・キーからバージョン番号、容量、個人用設定などの情報を取得できなかったことを示します。
- Unable to eject Memory Key (メモリー・キーを排出できません) - このメッセージは通常は、メモリー・キーを取り外そうとする前に、メモリー・キー上のすべてのアプリケーションまたはファイルを閉じていなかったことを示しています。開いているすべてのアプリケーションまたはファイルを閉じてから、再度メモリー・キーの取り外しを試みてください。
- The device 'xxx' cannot be stopped right now. Try stopping the device again later (装置 'xxx' を今停止することはできません。後で再試行してください。) - 「Unplug (プラグを抜く)」または「Eject Hardware (ハードウェアのイ

ジェクト) ウィンドウで「**Stop (停止)**」をクリックすると、このメッセージが表示されます。このメッセージは通常は、メモリー・キーを取り外そうとする前に、メモリー・キー上のすべてのアプリケーションまたはファイルを閉じていなかったことを示しています。MyKey アプリケーションを閉じて、再試行してください。このメッセージが再度表示された場合は、開いているアプリケーションまたはファイルをすべて閉じてから、メモリー・キーの取り外しを再試行してください。

注: このメッセージは、MyKey アプリケーションではなくオペレーティング・システムによって生成されます。このメッセージが生成されるオペレーティング・システムは、Windows XP または Windows 2000 のみです。

よく尋ねられる質問 (FAQ)

Q: 使用している MyKey のバージョンを調べる方法は?

A: 最も簡単な方法は、タスクバーの「MyKey」アイコンを右クリックして、次に「**About (バージョン情報)**」をクリックします。

Q: 使用しているコンピューターの複数のメモリー・キーに MyKey を使用できますか?

A: はい、できます。

Q: ファイルをメモリー・キーにコピーできないのですが、どうしてですか?

A: ご使用のメモリー・キーが書き込み保護されているか、もしくは十分な空きディスク・スペースがない可能性があります。メモリー・キーが書き込み保護されている場合は、MyKey コンソールの LCD に書き込み保護ログが表示されます。

Q: メモリー・キー・コンソールを閉じた後に、それを復元するにはどうしたら良いですか?

A: 「MyKey」アイコンをダブルクリックするか、右クリックして「**Show (表示)**」をクリックします。

第 4 章 マルチリンガル KeySafe II の使用

KeySafe II を利用して、IBM メモリー・キー上のプライバシー・ゾーンと呼ばれるパスワード保護された保護域を作成したり、アクセスすることができます。メッセージとプロンプトに従い、パスワードを使用して KeySafe II をセットアップし、個人情報を守る上での個人的およびビジネス上のニーズに合うようにプライバシー・ゾーンをカスタマイズすることができます。この章には、プライバシー・ゾーンを使用する際の手順、およびよく尋ねられる質問 (FAQ) とそれに対する回答も記載されています。

システム要件

- Pentium II 266MHz
- 1.7MB の空きディスク・スペース
- オペレーティング・システム: Windows 2000 または Windows XP
- メイン・ドライブ (通常はドライブ C) へのアクセス手段

KeySafe II アプリケーションは、管理者モードと非管理者モードで動作します。詳しくは、5-1 ページの『第 5 章 非管理者モードの KeySafe II と MyKey』を参照してください。

最大限の性能を得るために、メモリー・キーは、24 ビット・カラーをサポートするグラフィック・アクセラレーターと共に使用してください。

始めに

重要: プライバシー・ゾーンを作成する際、メモリー・キーはフォーマットされ、すべてのデータは失われます。プライバシー・ゾーンを作成する前に、ファイルをバックアップしてください。

プライバシー・ゾーンの作成

プライバシー・ゾーンを作成する手順は、次のとおりです。

1. メモリー・キーに割り当てたリムーバブル・ディスク・ドライブを選択して、「**KeySafe II**」アイコンをダブルクリックします。
2. 言語ウィンドウで希望する言語を選択し、「**OK**」をクリックします。サポートされる言語は、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語、ポルト

ガル語 (ブラジル)、中国語 (繁体字または簡体字)、および日本語です。



3. 「KeySafe II Welcome (KeySafe II へようこそ)」ウィンドウの内容を読んだ後、続ける場合は「OK」をクリックします。



4. 「KeySafe II Format (KeySafe II フォーマット)」ウィンドウの関係のあるフィールドに、以下の情報を入力します。
 - a. パスワード (必須)
 - b. 確認するために同じパスワードを再入力します (必須)
 - c. パスワードを覚えておくためのヒント (オプション)
 - d. メモリー・キーのスライド・バー (上方向/下方向) を使用しながら、プライバシー・ゾーンのサイズを指定して、プライバシー・ゾーンを初めて作成します。プライバシー・ゾーンの最大サイズは、メモリー・キーの容量の 90% です。保護される領域は青色です。



5. プライバシー・ゾーンを設定したら、「OK」をクリックします。
6. そのままフォーマット操作を続ける場合は、「OK」をクリックします。フォーマットが終了したら、再び「OK」をクリックします。これで、プライバシー・ゾーンにログインすることができます。



プライバシー・ゾーンの使用

プライバシー・ゾーンを使用するには、次の手順を実行してください。

1. デSKTOP上の「**KeySafe II**」アイコンをダブルクリックします。これにより「KeySafe II Login (KeySafe II ログイン)」ウィンドウが開きます。



2. プライバシー・ゾーンにログインするには、パスワードを入力して、「OK」をクリックします。パスワードを忘れた場合は、「Hint (ヒント)」をクリックします。パスワードを誤って入力すると、メッセージが返されます。



パスワードを忘れた場合は、「KeySafe II Login (KeySafe II ログイン)」ウィンドウの「Hint (ヒント)」フィールドに役立つ情報があるので、このフィールドを開いてください。正しいパスワードを入力すると、正常にログインしたというメ

メッセージが表示されます。



プライバシー・ゾーンとシステムのサスペンド/ハイバネーション

システムのサスペンドまたはハイバネートを行う前に、メモリー・キーで開いたすべてのファイルを保管して閉じてください。注意メッセージが表示されます。

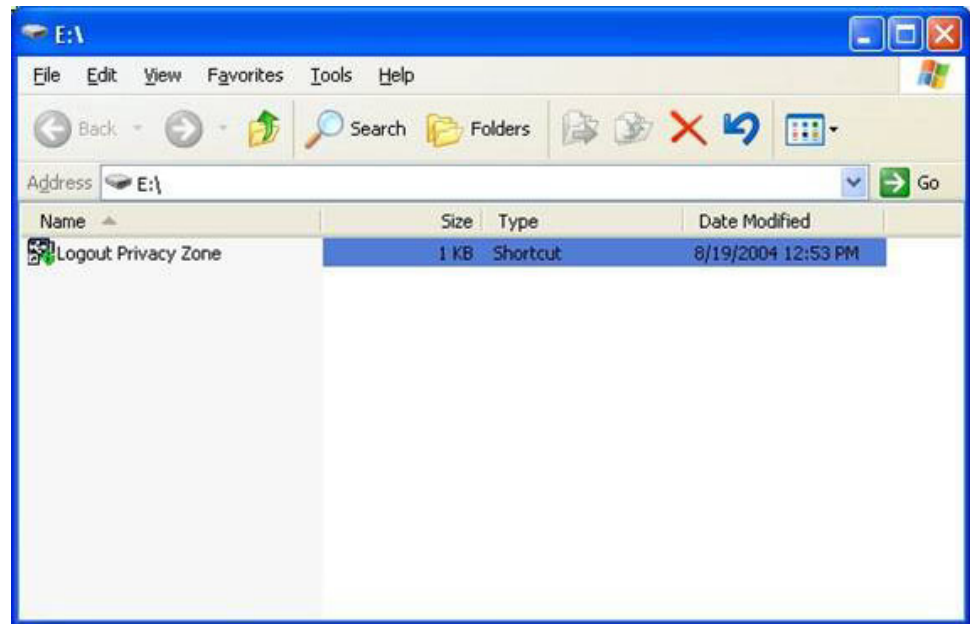


プライバシー・ゾーンからのログアウト

プライバシー・ゾーンからログアウトする手順は、次のとおりです。

1. メモリー・キーで開いたすべてのファイルを保管して閉じます。

2. 「KeySafe II」アイコンをダブルクリックします。



3. 「KeySafe II Logout (KeySafe II からのログアウト)」ウィンドウで「OK」をクリックしてログアウトします。

信頼オプション

データの保護に信頼オプションを使用すると、特定のコンピューター (たとえば、個人用ワークステーション、ホーム・コンピューター) を信頼できるコンピューターとして指定し、メモリー・キーを接続するたびにパスワードを入力する手間を省くことができます。この機能は、たとえば特定のワークステーションでメモリー・キーを頻繁に使用する場合や、お使いのコンピューターにメモリー・キーを定期的にバックアップする場合には、特に便利です。

ワークステーションを信頼できるコンピューターとして指定する手順は、次のとおりです。

1. 次の図に示すように、「KeySafe II Login (KeySafe II ログイン)」ウィンドウで「Trust this computer... (このコンピューターを信頼する)」チェック・ボックス

スを選択し、パスワードを入力してログインします。



信頼オプションを使用可能に設定すると、メモリー・キーを挿入するたびに「KeySafe II Login (KeySafe II ログイン)」ウィンドウが表示されますが、パスワードを入力する必要はありません。

2. 信頼オプションを使用不可に設定するには、「KeySafe II Login (KeySafe II ログイン)」ウィンドウで「**Trust this computer... (このコンピューターを信頼する)**」チェック・ボックスをクリアします。次の図に示すような警告メッセージが表示されます。



3. 「**OK**」をクリックして、「KeySafe II Login (KeySafe II ログイン)」ウィンドウに戻ります。このウィンドウでは、パスワードを使用してプライバシー・ゾーンにアクセスするか、信頼オプションを再度アクティブにできます。

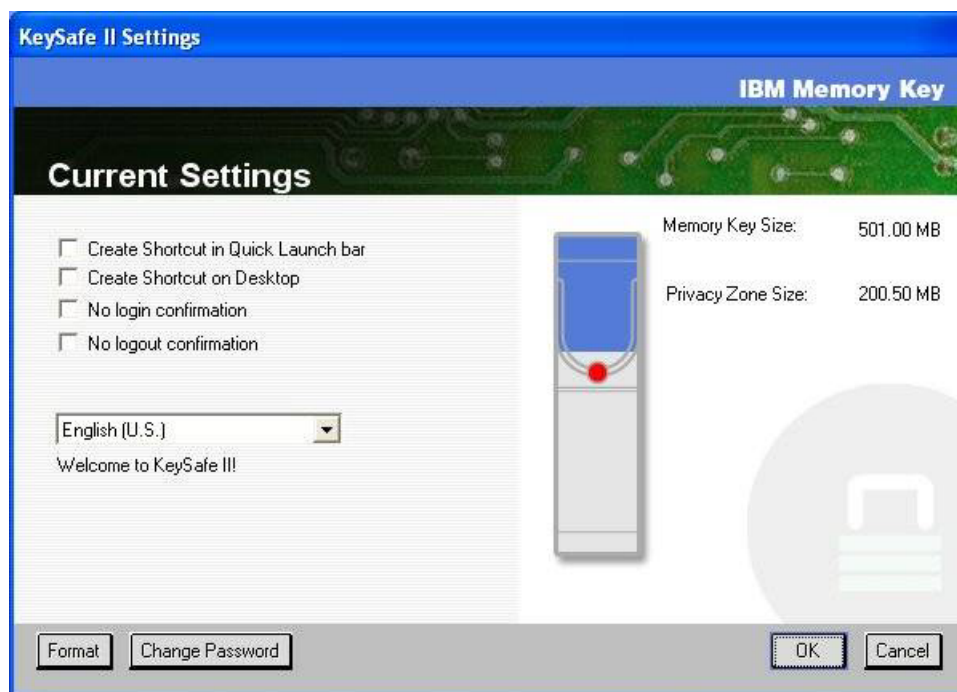
設定のカスタマイズ

デスクトップおよびパスワードの設定は、この後説明する方法でカスタマイズできます。

デスクトップ

デスクトップをカスタマイズするには、次の手順を実行してください。

1. ご使用のデスクトップ用に Keysafe II をカスタマイズするには、「KeySafe II Login」ウィンドウの「**Settings (セットアップ)**」をクリックします。これにより、次に示すような「KeySafe II Settings (KeySafe II セットアップ)」ウィンドウが開きます。



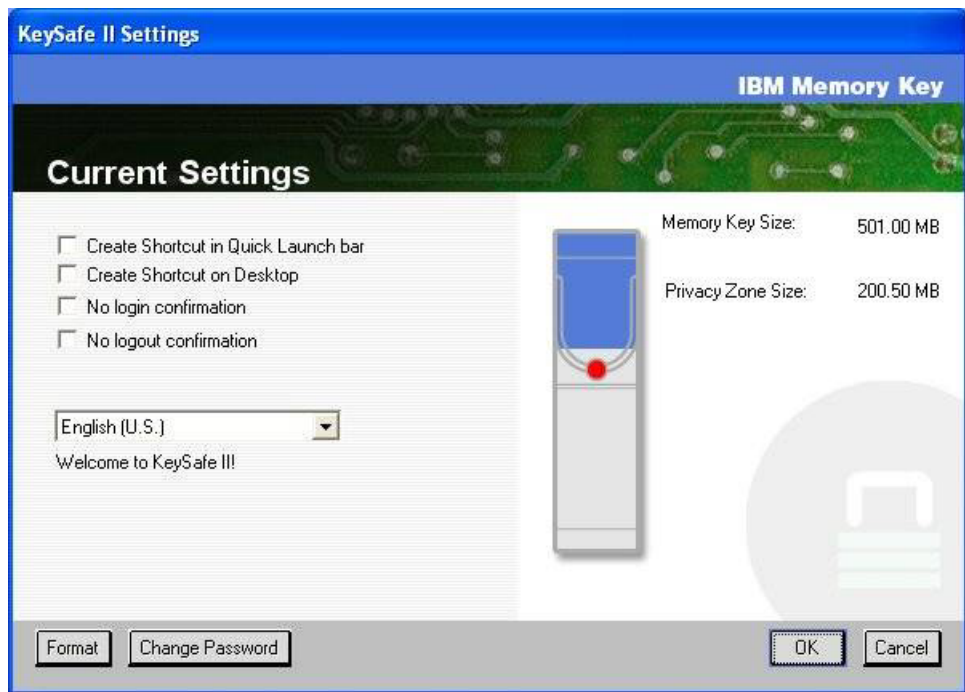
2. リストされているオプションを選択するには、それをクリックします (オプションの上をマウスでなぞると、各オプションの説明が「Description (解説)」フィールドに表示されます)。オプションには、次のものがあります。
 - Create Shortcut in Quick Launch Bar (クイック・ランチ・バーにショートカットを作成する)
 - Create Shortcut on Desktop (デスクトップにショートカットを作成)
 - No login confirmation (ログインの確認をしない)
 - No logout confirmation (ログアウトの確認をしない)
 - Language selection (言語選択)

パスワードの変更

KeySafe II の新しいバージョンでは、「KeySafe II Settings (KeySafe II セットアップ)」ウィンドウの「**Change Password (パスワードの変更)**」ボタンを使用してパスワードを変更できます。「**Change Password (パスワードの変更)**」ボタンを使用するには、次のようにします。

1. 「KeySafe II Login (KeySafe II ログイン)」ウィンドウで「**Settings (セットアップ)**」をクリックします。これにより、次に示すような「KeySafe II Settings

(KeySafe II セットアップ) ウィンドウが開きます。



2. 「**Change Password (パスワードの変更)**」をクリックして、ダイアログ・ウィンドウを開きます。



3. 現在の (旧) パスワード、新規パスワード、確認のために新規パスワードをもう一度、最後にヒントの順で入力します。
4. ダイアログ・ウィンドウを終了するには、「**OK**」をクリックします。



重要: 「Change Password (パスワードの変更)」 ボタンを使用せずにパスワードを変更すると、メモリー・キーがフォーマットされ、「すべての」データが失われます。

プライバシー・ゾーンの変更

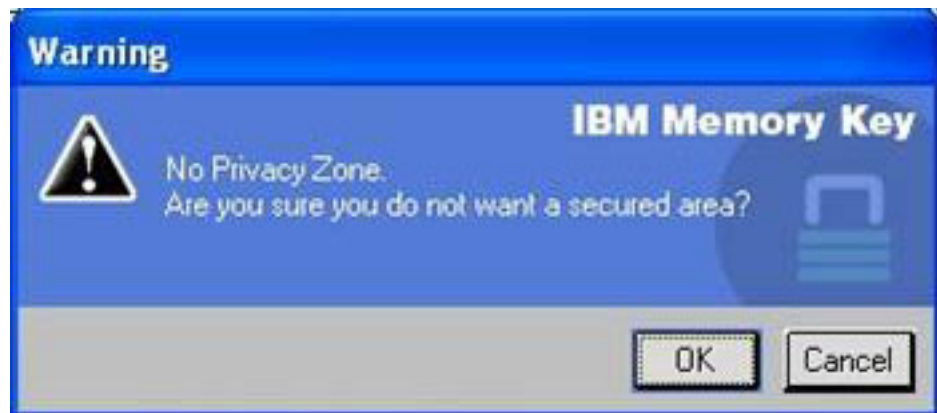
重要: プライバシー・ゾーンのサイズを変更するには、メモリー・キーをフォーマットしなくてはなりません。これを行うと、「すべての」保護データおよび非保護データが失われます。

プライバシー・ゾーンを変更する手順は、次のとおりです。

1. 「KeySafe II Settings (KeySafe II セットアップ)」ウィンドウで「**Format (フォーマット)**」をクリックします。これにより、「Format Options (フォーマットのオプション)」ウィンドウが開きます。
2. パスワードを入力し、さらにもう 1 回入力して確認します。
3. パスワードを忘れたときのために、パスワードを思い出すヒントを入力してください。
4. スライダー・バーを使用してプライバシー・ゾーンのサイズを設定します。
5. 「**OK**」をクリックします。

プライバシー・ゾーンを使用不可にして、メモリー・キー・スペース全体をパブリック・ゾーンに使用する場合は、次の手順を実行します。

1. 上記のステップ 1 ~ 3 を実行します。
2. スライダー・バーを使用してプライバシー・ゾーンのサイズを 0% に設定します。
3. 「**OK**」を実行して、操作を確認します。



よく尋ねられる質問

Q: 使用している KeySafe II のバージョンを調べる方法は？

A: 最も簡単な方法は、メモリー・キー上の「KeySafe II」アイコンを右クリックして、次に「Properties and Version (プロパティとバージョン)」をクリックします。

Q: KeySafe II を最新バージョンにアップグレードする方法は？

A: Web (<http://www.ibm.com/pc/support> (英語のサイトです)) からデスクトップに ZIP ファイルをダウンロードします。「USB 2.0 Memory Key」をもとに検索してください。ダウンロードしたファイルを unzip して、exe ファイルをメモリー・キーにコピーします。KeySafe II をダブルクリックして、メモリー・キーからその exe ファイルを起動します。デスクトップまたはクイック・ランチ・バーに作成したショートカットは使用しないでください。このショートカットを使用すると、旧バージョンが起動します。

Q: プライバシー・ゾーンをフォーマットせずに KeySafe II パスワードだけを変更することはできますか？

A: はい、「KeySafe II Settings (KeySafe II セットアップ)」ウィンドウ内の「Change Password (パスワードの変更)」ボタンを使用して、KeySafe パスワードのみを変更することができます。「Change Password (パスワードの変更)」ボタンを使用せずにパスワードを変更すると、メモリー・キーがフォーマットされ、「すべての」データが失われるので、注意してください。

Q: メモリー・キー上のすべてのデータを保護したいのですが、どうして、最大プライバシー・ゾーンを 90% に制限しなければならないのですか？

A: メモリー・キーは、メモリー・キーに関する情報の他に、KeySafe II を実行するためのスペースを必要とします。メモリー・キーの 10% は、KeySafe II 操作を妨害することなくアップグレードしたり、将来インストールするアプリケーションで使用するためのスペースを確保するために空き状態にしておきます。

Q: 自分が現在、プライバシー・ゾーンとパブリック・ゾーンのどちらで作業しているのかを、どうやって判断するのですか？

A: Windows 2000 の場合、プライバシー・ゾーンで作業していれば、赤色の鍵が掛かった「KeySafe II」アイコンが表示されています。Windows 2000 または XP の場合、プライバシー・ゾーンで作業していれば、ルート・ファイル・フォルダーまたはメモリー・キー・アイコンの背景色が青色です。(コンピューターで従来のフォルダー・ビューを選択した場合、この視覚による表示はありません。)

Q: どのように、パブリック・ゾーンとプライバシー・ゾーンを切り替えるのですか？

A: デスクトップ、メモリー・キー、またはクイック・ランチ・バーから KeySafe II を起動します。パスワードの入力を促すプロンプトが出された場合、これは、ユーザーが現在パブリック・ゾーンにいることを意味します。プライバシー・ゾーンに切り替えるには、パスワードを入力して、「OK」をクリックします。ポップアップ・ウィンドウが開き、プライバシー・ゾーンからのログアウトを確認するプロンプトが出された場合、これは、ユーザーが現在プライバシー・ゾーンで作業していることを意味します。切り替えるには、「OK」をクリックします。プライバシー・ゾーンにログインしたままでは、「Cancel (キャンセル)」をクリックします。

Q: 誤って、メモリー・キーから KeySafe II を削除してしまいました。プライバシー・ゾーン内のデータには、どうやってアクセスできますか？

A: ご使用のキーに付属してきた CD から KeySafe の exe ファイルをコピーするか、もしくは <http://www.pc.ibm.com> (英語のサイトです) にアクセスします。「USB 2.0 Memory Key」をもとに検索し、exe ファイルをダウンロードします。以前指定したプライバシー・ゾーンがアクセス可能になります。

Q: 使用しているコンピューターの複数のメモリー・キーに KeySafe II を使用できますか？

A: はい、できます。すべての IBM 64 MB、128 MB、および 256 MB メモリー・キーは、ご使用のオペレーティング・システムにインストールされた KeySafe II アプリケーションをサポートします。

Q: KeySafe II で複数のメモリー・キーを同時に使用できますか？

A: いいえ。

Q: KeySafe II のフォーマットが失敗した場合、メモリー・キー上のパブリック・ゾーンとプライバシー・ゾーンの両方をフォーマットするための別の方法がありますか？

A: はい、できます。オペレーティング・システムのフォーマット・ユーティリティを使用してください。そして、KeySafe II をコピーすれば、KeySafe II を使用できるようになります。

第 5 章 非管理者モードの KeySafe II と MyKey

この章では、KeySafe II と MyKey の両アプリケーションを非管理者モードで使用する方法を説明します。

システム要件

- Pentium II 266 MHz
- 1.7MB のフリー・スペース
- オペレーティング・システム: Windows 2000 および Windows XP

インストール手順

サービスをインストールするには、次の手順で行います。

1. 管理者としてログインします。
2. SERVICE FOR NON-ADMIN.ZIP ファイル (メモリー・キーに付属の CD に収録されています) を、すべてのユーザーがアクセスできるディレクトリーに unzip します (例: C:\DiskOnKey service、C:\Program files、C:\winnt\system32)。「デスクトップ」ディレクトリーや「マイ ドキュメント」ディレクトリーなど、個々のユーザー別に制限されている可能性があるフォルダーは使用しないでください。
3. install SERVICE.BAT ファイルを起動して、サービスをインストールします。
注: 管理者のみがサービスをインストールできます。
4. サービスが正しくインストールされたことを確認するには、「設定」→「コントロール パネル」→「管理ツール」→「サービス」を選択し、hdlSrv サービスを見付けてください。

サービスがインストールされると、KeySafe II と MyKey の両アプリケーションを、管理者と非管理者のどちらの特権下でも実行できるようになります。

サービスのアンインストール

サービスをアンインストールするには、次の手順で行います。

- 管理者としてログインします。
- UNINSTALL SERVICE.BAT ファイル (メモリー・キーに付属の CD に収録されています) を起動して、サービスをアンインストールします。

第 6 章 IBM メモリー・キー・ブート・ユーティリティ

IBM メモリー・キー・ブート・ユーティリティを利用して、メモリー・キーをブート可能ディスクにすることができます。このユーティリティを使用して、メモリー・キーをブート可能ディスクにすると、キーから IBM コンピューターをブートできるようになります。

システム・セットアップの要件

- ブート可能 USB デバイスをサポートする BIOS。BIOS がブート可能 USB デバイスをサポートしているかどうか確かでない場合は、ご使用のコンピューターのメーカーにお問い合わせください。必要な場合は、入手可能な更新がある場合があります。
- コンピューターに付属の BIOS 説明書または、該当する場合は BIOS 更新。

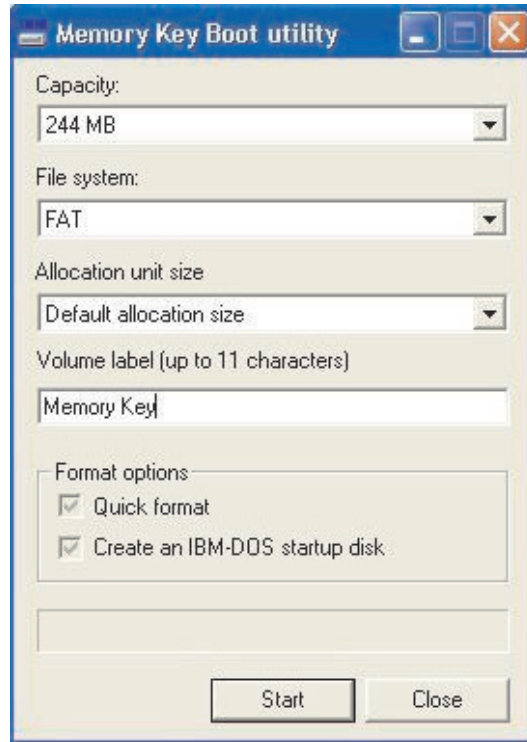
USB ストレージ・デバイスのブートをサポートする IBM コンピューターの詳細については、<http://www.ibm.com/pc/support> (英語のサイトです) にアクセスして、「128 MB USB 2.0 Memory Key」を検索してください。

- Pentium II 266 MHz
- 1.5 MB の空きディスク・スペース (ドライブ C 上)
- オペレーティング・システム: Windows 2000 または Windows XP

IBM ブート・メモリー・キーの作成

ブート・メモリー・キーを作成する手順は、次のとおりです。

1. CD 上の「**Boot Application (ブート・アプリケーション)**」アイコンをダブルクリックします。アプリケーション・ウィンドウが開きます。



2. メモリー・キーを挿入します。アプリケーション・ウィンドウの関連フィールドに、容量、ファイル・システムなどのディスク・プロパティーが表示されます。
3. ボリューム・ラベルを作成する場合は、「Volume label (ボリューム・ラベル)」フィールドにラベル名を入力します (最大 11 文字)。
4. 「**Start (開始)**」をクリックすると、ブート・ディスクの作成が開始されます。ユーザーのすべてのファイルが削除されるという警告メッセージが表示されます。続ける場合は「**OK**」をクリックします。フォーマット処理を取り消す場合は、「**Cancel (キャンセル)**」をクリックします。
5. 「**Start (開始)**」をクリックすると、フォーマット処理の状況を示す進行状況表示バーが表示されます。フォーマットが完了すると、フォーマット処理が正常に完了したというメッセージが表示されます。
6. ブート・ディスクを作成せずにプログラムを終了する場合は、「**Cancel (キャンセル)**」をクリックします。

注:

- a. ブート・ディスクを作成するには、メモリー・キーをフォーマットする必要があります。メモリー・キーのフォーマットにより、キー上のすべてのファイルは削除されます。
- b. いったんフォーマット処理を開始すると、終了するまで処理を中止することはできません。
- c. フォーマット中、メモリー・キーを取り外さないでください。また、メモリー・キーを使用する可能性のあるアプリケーションはすべて閉じてください。

コンピューターを IBM メモリー・キーを使用してブートする

コンピューターを IBM メモリー・キーを使用してブートする手順は、次のとおりです。

1. システムの電源を切ります。ブート・メモリー・キーを、使用可能な USB スロットに挿入します。
2. システムの電源を入れて、ご使用のデスクトップ・コンピューターまたはモバイル・コンピューターのドキュメンテーションに載っている手順で BIOS 設定を表示します。ご使用のコンピューターでのディスクのブート順序または始動順序を決めるセクションを見つけてください。
3. 順序を次のように変更します。
 - 既存のディスク・ドライブ (ご使用のデスクトップ・コンピューターまたはモバイル・コンピューターの構成によっては、該当しない場合もあります)
 - ATAPI CD-ROM ドライブまたは光ディスク・ドライブ
 - ハード・ディスク - USB メモリー・キー
 - ハード・ディスク - オペレーティング・システムまたはデータ・ファイルが含まれているメイン・ハードディスク・ドライブ
4. 設定の変更を保管し、BIOS を終了させます。
5. コンピューターを再始動します。メモリー・キーを使用して DOS プロンプトがブートされます。

問題判別

- **プライバシー・ゾーンが存在するキー上にブート・ディスクを作成する:** 前に (KeySafe II アプリケーションによって) メモリー・キー上にプライバシー・ゾーンを作成した場合、ブート・アプリケーションを実行する前に、このプライバシー・ゾーンを削除する必要があります。プライバシー・ゾーンを削除するには、KeySafe II を実行して、プライバシー・ゾーンを「0」に設定します。詳しくは、CD に収められている KeySafe II のマニュアルを参照してください。
- **書き込み保護可能キー上にブート・ディスクを作成する:** 前に (MyKey アプリケーションによって) キーを書き込み保護可能に設定した場合、ブート・アプリケーションを実行する前にこの機能を使用不可にする必要があります。詳しくは、CD に収められている MyKey のマニュアルを参照してください。
- **複数のメモリー・キーを同時に使用する:** 複数のメモリー・キーを挿入した場合、ブート・ディスクとして使用するキーを残して、それ以外のキーを取り外すように促すプロンプトが出されます。

付録 A. サービスおよびサポート

以下に記載している情報は、ご使用の製品に対して、保証期間中または製品ライフの全体に渡って有効なテクニカル・サポートについて説明しています。IBM の保証条件について詳しくは、お手元の IBM 限定保証書をご覧ください。

オンライン・テクニカル・サポート

オンライン・テクニカル・サポートは、<http://www.ibm.com/pc/support> にある Personal Computing Support Web をとおして、ご使用の製品の製品ライフの期間中に渡り有効です。

保証期間中に障害を生じたコンポーネントについては、取り替えの依頼または交換が可能です。さらに、IBM 製のオプションが IBM コンピューターに取り付けられているには、お客様の機械設置場所でサービスを受けられる場合もあります。テクニカル・サポートの担当者が、最良の選択肢を提示します。

テレホン・テクニカル・サポート

IBM サポートが行っていた取り付けおよび構成についてのサポートの中止、または有料での継続を行うかどうかは、オプション製品の販売が終了した後、その 90 日後に IBM の裁量にまかされます。ステップバイステップによる取り付けアシスタンスを含む追加サポートは、通常料金でご利用できます。

テクニカル・サポート担当者へお伝えする情報として、以下の項目について、可能な限り確認しておいてください。

- オプションの名前
- オプションの番号
- ご購入を証明する書類
- コンピューターの製造メーカー、モデル、シリアル番号 (IBM の場合)、およびマニュアル
- エラー・メッセージの正確な文言 (メッセージがある場合)
- 問題の説明
- ご使用のシステムのハードウェア構成およびソフトウェア構成に関する情報

可能ならば、コンピューターの設置場所からお問い合わせください。テクニカル・サポートの担当者は、通話中に問題の再現を依頼する場合があります。

国別のサポートの電話番号と受付時間は以下の表を参照してください。お知りになりたい国、または地域の番号がリストにない場合、IBM 販売店または IBM の営業担当員にお問い合わせください。応答時間は、番号および受け取った着信の種類によって変わります。

電話番号は、予告なしに変更される場合があります。最新の電話番号リストについては、<http://www.ibm.com/pc/support> にアクセスし、「**Support Phone List**」をク

リックしてください。

国または地域	電話番号	国または地域	電話番号
アフリカ	+44 (0) 1475 555 055	日本	デスクトップ: 0120-887-870 • 海外から: 81-46-266-1084 ThinkPad: 0120-887-874 • 海外から: 81-46-266-1084 IntelliStation および xSeries: 81-46-266-1358 PC ソフトウェア: 0120-558-695 • 海外から: 81-44-200-8666
アルゼンチン	0800-666-0011	ルクセンブルグ	298-977-5063
オーストラリア	131-426	マレーシア	(60) 3-7727-7800
オーストリア	01-24592-5901	メキシコ	001-866-434-2080
ボリビア	0800-0189	中東諸国	+44 (0) 1475 555 055
ベルギー	オランダ語: 02-210 9820 フランス語: 02-210 9800	オランダ	020-514 5770
ブラジル	55-11-3889-8986	ニュージーランド	0800-446-149
カナダ	英語: 1-800-565-3344 フランス語: 1-800-565-3344 トロント市内: 416-383-3344	ニカラグア	255-6658
チリ	800-224-488	ノルウェー	66 81 11 00
中国	800-810-1818	パナマ	206-6047
中国 (香港および S.A.R.)	家庭用 PC: 852-2825-7799 業務用 PC: 852-8205-0333	ペルー	0-800-50-866
コロンビア	980-912-3021	フィリピン	(63) 2-995-2225
コスタリカ	284-3911	ポルトガル	21-892-7147
デンマーク	45 20 82 00	ロシア	095-940-2000

国または地域	電話番号	国または地域	電話番号
ドミニカ共和国	566-4755 または 566-5161 内線 8201 ドミニカ共和国内の フリーダイヤル: 1-200-1929	シンガポール	(65) 1-800-840-9911
エクアドル	1-800-426911 (オプシ ョン #4)	スペイン	91-714-7983
エルサルバドル	250-5696	スウェーデン	08-477 4420
フィンランド	09-459 69 60	スイス	058-333-0900
フランス	02 38 55 74 50	台湾	886-2-8723-9799
ドイツ	07032-1549 201	タイ	(66) 2-273-4000
グアテマラ	335-8490	トルコ	00-800-446-32-041
ホンジュラス	テグシガルパおよび サンペドロスラ: 232-4222 サンペドロスラ: 552-2234	英国	0-1475-555 055
インド	1600-44-6666	米国	1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378)
インドネシア	(62) 21-523-8535	ウルグアイ	000-411-005-6649
アイルランド	01-815-9202	ベネズエラ	0-800-100-2011
イタリア	02-7031-6101	ベトナム	ホーチミン: (84) 8-829-5160 ハノイ: (84) 4-843-6675

付録 B. 「IBM の保証の内容と制限」 Z125-4753-08 04/2004

第 1 章 - 共通条項

この「保証の内容と制限」(以下、「本書」といいます)は、第 1 章 - 共通条項、第 2 章 - 各国固有の条項、および第 3 章 - 保証情報、により構成されています。第 2 章には、第 1 章記載の条項を変更または置き換える条項が記載されている場合があります。本書に記載の保証は、お客様が再販売の目的でなく自己使用の目的で購入する機械にのみ適用されます。「機械」とは、機械本体、機構、型式変更、装置構成部、アクセサリまたはその組み合わせを意味します。「機械」には、機械にあらかじめ導入されていたか、後に導入されたかに拘らず、いかなるソフトウェア・プログラムも含まれません。本書は、消費者保護法規によるお客様の権利を変更するものではありません。

本保証の適用対象

IBM は、各機械が IBM 所定の仕様 (以下、「仕様」といいます) どおり良好に稼動することを保証します。お客様は、この仕様を請求し入手できます。本機械の保証期間は、第 3 章 - 保証情報で特定される期間とし、機械の引渡日から開始します。機械の引渡日は、IBM または IBM ビジネス・パートナーが別途規定・通知する以外は、お客様の納品書もしくは領収書上の日付とします。機構、型式変更またはアップグレードの多くは、部品の取り外しおよび IBM への返却を含みます。かかる場合取り外された部品に対する保証サービスの条件が、そのまま交換部品に適用されます。IBM が別途定める場合を除き、本書は、お客様が IBM 機械を購入された国または地域においてのみ適用されます。

本保証は、お客様に提供される保証のすべてを規定したもので、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任または保証条件に代わるものとし、国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとし、この場合の保証も機械の保証期間内に限定され、当該保証期間終了後は、いかなる保証も適用されません。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証の適用期間の制限が禁じられている場合、強行規定の制限を受けるものとし、

本保証の適用除外

本保証は、以下のものに適用されません。

- 本機械にあらかじめ導入されていたか、後に導入されたかにかかわらず、すべてのソフトウェア・プログラム
- 誤用 (IBM が文書にて認めた容量および能力を超えた使用を含む)、事故、災害、変更、IBM 所定の設備条件および稼動環境に合致しない環境、またはお客様によってなされた不適切な保守から生じる故障
- IBM に保証責任のない製品により引き起こされた故障
- すべての他社製品。他社製品にはお客様のご要望により IBM が調達し、IBM 機械と共にまたは組み込んで提供する他社製品を含みます。

機械または部品の ID ラベルが変更もしくは取り外された機械についての保証は無効となります。

IBM は、機械の実行が中断しないこと、もしくはその実行に誤りがないことを保証するものではありません。

保証期間中の機械に対し提供される技術的またはその他のサポート (例えば、使用方法、機械のセットアップや導入に関する問い合わせに対する応答など) については、いかなる保証も適用されません。

保証サービスの利用方法

機械が保証期間中に仕様どおりの良好な稼動状態でなくなった場合には、IBM または IBM ビジネス・パートナーにご連絡ください。IBM への製品登録を行っていない場合は、保証サービスを受ける権利の証として、保証書等の購入証明書の提示を求められる場合があります。

問題を解決するために IBM が行うこと

IBM にサービスを依頼する場合は、IBM が指定する問題の判別と解決の手順に従ってください。技術者の電話による対応もしくは IBM の Web サイトを通したやりとりにより、お客様の問題の初期診断が行われます。

本機械に適用される保証サービスの種類は、第 3 章 - 保証情報で指定されています。

IBM インターネット Web サイトまたは他の電子メディアから入手する、所定の機械コード (IBM 機械と一緒に提供される、マイクロコード、BIOS (基本入出力システム)、ユーティリティ・プログラム、デバイス・ドライバー、診断プログラム) およびその他のソフトウェアのアップデートについては、IBM が提供する取扱説明に従ってお客様の責任でダウンロードし、導入してください。

キーボード、マウス、スピーカー、メモリー、ハード・ディスクなどのカスタマー交換可能ユニット (以下「CRU」といいます) を使用して問題を解決できる場合には、IBM は お客様が導入できるように CRU を出荷します。

機械が保証期間中に仕様どおりの稼動状態でなくなったときに、電話または Web サイトを通じた対応もしくは機械コードまたはソフトウェアの更新、または CRU を使用しても問題を解決できない場合には、IBM または IBM により保証サービスを提供することが認められたビジネス・パートナーは、その判断により、1) 機械を修理して保証どおり稼動させるか、または 2) 少なくとも機能的に同等の機械と交換します。IBM が機械を修理もしくは交換できない場合、お客様は、この機械を購入元に返却することにより、支払済代金の返金を受けることができます。

さらに IBM または IBM ビジネス・パートナーは、機械に対し適切であると判断した技術的変更を実施することがあります。

機械または部品の交換

保証サービスが機械または部品の交換を伴う場合、IBM または IBM ビジネス・パートナーにより取り外された旧部品または機械は IBM の所有とし、取り付けられた交換部品または機械はお客様の所有となります。お客様は、取り外された部品が IBM 純正部品であり、変更されていないことを保証するものとします。取り付けられた交換部品または機械は新品でない場合もありますが、良好に稼動し、少なくとも

交換された旧部品または機械と機能的に同等のものとしします。取り付けられた部品または機械は、取り外された部品または機械に対する保証サービスの条件を引き継ぎます。

お客様のその他の責任

お客様は、保証サービスを要求される場合、プログラム、データおよび取り外し可能な記録媒体ならびにすべての IBM 製品以外の部品、付加物または変更物を機械からお取り外し下さい。

お客様は、次の各号に同意するものとしします。

1. 機械に交換を妨げる担保等の法的な制約がないことを保証すること。
2. お客様の所有に属さない機械に、IBM または IBM ビジネス・パートナーがサービスを提供することについて、機械の所有者から承諾を得ること。
3. 次に該当する場合、サービスを受ける前に:
 - a. IBM または IBM ビジネス・パートナーが提供するサービス要求の手順に従うこと。
 - b. 機械に含まれるすべてのプログラム、データおよび資源を安全に保管すること。
 - c. IBM または IBM ビジネス・パートナーが保証サービスのため適時かつ安全に作業を行うことができるようにすること。
 - d. 機械の設置場所の変更を IBM および IBM ビジネス・パートナーに知らせること。
4. (a) 個人を特定する、または特定し得るすべての情報 (以下「個人データ」といいます) が、技術的に可能な範囲で機械から削除されたことを確認すること。(b) IBM、または IBM ビジネス・パートナーが本書に基づく義務を履行するために必要と判断した場合に、機械に残っている個人データをお客様のために処理することを認めること。この処理は IBM の指定する第三者が行なうことがあり、この処理のために海外の IBM サービス・ロケーションへ機械が配送されることがあります。(c) この処理が、個人データに対し適用されるいかなる法律をも遵守していることを確認すること。

責任の制限

お客様の機械が 1) IBM の占有下にある場合、および 2) IBM の費用負担で輸送中の場合における機械の滅失破損については IBM の責任としします。

IBM も IBM ビジネス・パートナーも、いかなる場合であれ、お客様が IBM に返却した機械に含まれるお客様の機密情報、専有情報または個人情報については責任を負いません。お客様は、機械を IBM または IBM ビジネス・パートナーに送付する前に、これらの情報を削除または消去して下さい。

お客様が IBM の責に帰すべき事由 (契約不履行、過失、不実表示または不法行為等を含みます) に基づく損害に対して救済を求める場合、IBM の賠償責任は、請求の原因を問わず、次の各号に定めるものに限られます。

1. 生命・身体または有体物に対する賠償責任。
2. お客様に現実に発生した通常かつ直接の損害に対し、損害発生の原因となった当該「機械」の売買価格相当額 (ただし、定期払料金の場合には、12 か月分相当分) の金額を限度とする金銭賠償責任。この条項において「機械」には、機械コードおよびライセンス内部コード (LIC) を含みます。

この責任の制限は、IBM に機械を提供したサプライヤーおよび IBM ビジネス・パートナーに対する損害賠償請求にも適用されるものとします。お客様は、IBM、機械製造者および IBM ビジネス・パートナーに対して重複して損害賠償を請求することはできません。

いかなる場合においても、IBM および IBM のサプライヤーならびに IBM ビジネス・パートナーは、その予見の有無を問わず発生した以下のものについては賠償責任を負いません。1) 第三者からの賠償請求に基づく損害 (本項の上記 1. の賠償責任の場合を除く)、2) データの喪失、または損傷、3) 特別損害、付随的損害、間接損害およびその他の拡大損害、4) 逸失した利益、ビジネス上の収益、信用あるいは節約すべかりし費用。国または地域によっては、法律の強行規定により、上記の責任の制限が適用されない場合があります。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証の適用期間の制限が禁じられている場合、強行規定の制限を受けるものとします。

準拠法

両当事者は法原理の矛盾に関する場合を除き、本書から生じる、もしくは本書に関連する両当事者のすべての権利義務を、規律、解釈、実施するために、お客様が「機械」を購入された国の法律を適用することに同意するものとします。

以上の保証は、お客様に一定の法的権利を与えておりますが、国または地域によって異なる場合があります。

裁判管轄権

両当事者の権利および義務については、お客様が「機械」を購入された国の裁判所を管轄裁判所とします。

第 2 章 - 各国固有の条項

アメリカ

アルゼンチン

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らブエノスアイレス市直轄商事裁判所によって解決されるものとします。

ボリビア

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らラパス市の法廷によって解決されるものとします。

ブラジル

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らリオデジャネイロ州、リオデジャネイロの法廷によって解決されるものとします。

チリ

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らサンチアゴの民事裁判所によって解決されるものとします。

コロンビア

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らコロンビア共和国の裁判官によって解決されるものとします。

エクアドル

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らキトの裁判官によって解決されるものとします。

メキシコ

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らメキシコシティー連邦区の連邦裁判所によって解決されるものとします。

パラグアイ

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らアスンシオン市の法廷によって解決されるものとします。

ペルー

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らリマ司法管轄区セルカドの裁判官および裁判所によって解決されるものとします。

責任の制限: 本条の最後に次のように追加します。

ペルーの民法第 1328 条に基づき、本条で指定された制限と適用除外は IBM の故意の不法行為 ("dolo") または重大な過失 ("culpa inexcusable") には適用されません。

ウルグアイ

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らモンテビデオ市の法廷によって解決されるものとします。

ベネズエラ

準拠法: この最初の文の後に、次のように追加します。

本書に起因するすべての訴訟は、専らカラカス首都圏の法廷によって解決されるものとします。

北アメリカ地域

保証サービスの利用方法: 本条に次のように追加します。

カナダまたはアメリカ合衆国において保証サービスを得るには、1-800-IBM-SERV (426-7378) に電話してください。

カナダ

責任の制限: 本条の第 1 項を次のように置き換えます。

IBM の過失によってお客様に生じた身体、生命または有体物に対する賠償責任。

準拠法: 最初の文の「機械を購入された国の法律」の部分の次のように置き換えます。

オンタリオ州の法律。

アメリカ合衆国

準拠法: 最初の文の「機械を購入された国の法律」の部分の次のように置き換えます。
ニューヨーク州の法律。

アジア太平洋

オーストラリア

本保証の適用対象: 本条に次の段落を追加します。

本条の保証条件は、Trade Practices Act 1974 またはその他の同様の法規に基づくお客様の権利に追加するものであり、適用される法規によって認められる範囲においてのみ制限されます。

責任の制限: 本条に次のように追加します。

IBM が、Trade Practices Act 1974 またはその他の同様の法規に基づく黙示の条件または保証に違反した場合は、IBM の損害賠償責任は、IBM が商品を提供する場合、この製品の修理もしくは交換または同等の製品との交換に限ります。ただし、当該条件または保証が個人的または家庭用に使用または消費する目的の商品に対する販売権、平穩的占有権または明示的所有権に関連する場合は、本条記載の責任制限は適用されません。

準拠法: 最初の文の「機械を購入された国の法律」の部分の次のように置き換えます。
州または地域の法律

カンボジアおよびラオス

準拠法: 最初の文の「機械を購入された国の法律」の部分の次のように置き換えます。
アメリカ合衆国ニューヨーク州の法律。

カンボジア、インドネシア、およびラオス

仲裁: この見出しの下に以下を追加します。

本書に起因する、あるいは本書に関連した紛争は、紛争発生時に有効な Singapore International Arbitration Center (SIAC) の規則に従ってシンガポールにおける仲裁により最終的に解決されるものとします。仲裁の裁定は最終的なものであり、異議申し立てなく当事者双方に対する拘束力を持つこととなります。そして、仲裁の裁定は書面にされ、事実認定と法律の結論とを記述します。

仲裁人は 3 名とし、紛争のそれぞれの側は 1 名の仲裁人を任ずる権利があります。当事者により任命される 2 名の仲裁人は、第 3 の仲裁人を任命し、この第 3 の仲裁人は仲裁手続きの議長を務めるものとします。議長のポストに空席が生じた場合は、議長は SIAC の議長により指名されます。他の欠員が生じた場合、それぞれ指名権を持つ当事者の指名により、欠員を埋めるものとします。議事進行は、欠員が生じた時点における段階から継続するものとします。

当事者の一方が、他方が仲裁人を任命してから 30 日以内に自己の仲裁人を任命することを拒んだ場合、あるいは任命できなかった場合は、他方の側がそれを任じ、最初に任命された仲裁人が有効かつ適正に任命されたことを条件として、最初に任命された仲裁人が唯一の仲裁人になります。

すべての議事進行は、提示されたすべての文書を含め、英語で執り行われるものとします。この「保証の内容と制限」の英語版の効力は、他の言語版の「保証の内容と制限」よりも優先されます。

香港 (中国の特別行政区) およびマカオ (中国の特別行政区)

準拠法: 最初の文の「機械を購入された国の法律」の部分の次のように置き換えます。

香港 (中国特別行政区) の法律。

インド

責任の制限: 本条の第 1 項および第 2 項を次のように置き換えます。

1. お客様に生じた身体、生命および有体物に対する賠償責任は IBM の過失の場合に限られます。
2. この「保証の内容と制限」に基づく、あるいはこれに関連する IBM の契約不履行により、お客様に現実発生した通常かつ直接の損害に対し、損害発生の原因となった機械の支払済みの売買価格相当額。この条項において「機械」には、機械コードおよびライセンス内部コード (LIC) を含みます。

仲裁: この見出しの下に以下を追加します。

本書に起因する、あるいは本書に関連した紛争は、紛争発生時に有効なインドの法律に従って、インド共和国バンガロールにおける仲裁により最終的に解決されるものとします。仲裁の裁定は最終的なものであり、異議申し立てなく当事者双方に対する拘束力を持つこととなります。そして、仲裁の裁定は書面にされ、事実認定と法律の結論とを記述します。

仲裁人は 3 名とし、紛争のそれぞれの側は 1 名の仲裁人を任ずる権利があります。当事者により任命される 2 名の仲裁人は、第 3 の仲裁人を任命し、この第 3 の仲裁人は仲裁手続きの議長を務めるものとします。議長のポストに空席が生じた場合は、議長は Bar Council of India の議長により指名されます。他の欠員が生じた場合、それぞれ指名権を持つ当事者の指名により、欠員を埋めるものとします。議事進行は、欠員が生じた時点における段階から継続するものとします。

当事者の一方が、他方が仲裁人を任命してから 30 日以内に自己の仲裁人を任命することを拒んだ場合、あるいは任命できなかった場合は、他方の側がそれを任じ、最初に任命された仲裁人が有効かつ適正に任命されたことを条件として、最初に任命された仲裁人が唯一の仲裁人になります。

すべての議事進行は、提示されたすべての文書を含め、英語で執り行われるものとします。この「保証の内容と制限」の英語版の効力は、他の言語版の「保証の内容と制限」よりも優先されます。

日本

準拠法: 本条に次の文を追加します。

本書に関する疑義が生じた場合は、当事者双方が信義誠実の原則に従って協議するものとします。

マレーシア

責任の制限: 5 番目の段落の第 3 項の **SPECIAL** という語は、削除されます。

ニュージーランド

本保証の適用対象: 本条に次の段落を追加します。

本条に規定される保証条件は、Consumer Guarantees Act 1993 またはその他の強行法規に基づくお客様の権利に追加するものです。ただし Consumer Guarantees Act 1993 は、同法で定義するビジネスを目的として IBM が提供した製品についてはいかなる場合も適用されません。

責任の制限: 本条に次のように追加します。

お客様が Consumer Guarantees Act 1993 で規定するビジネスの目的以外で製品またはサービスを取得した場合には、本条の責任の制限は当該法律の適用を受けるものとします。

中華人民共和国 (PRC)

準拠法: 最初の文の「機械を購入された国の法律」の部分の次のように置き換えます。

アメリカ合衆国ニューヨーク州の法律 (地域法により別の定めがある場合を除く)。

フィリピン

責任の制限: 5 番目の段落の第 3 項を、次のように置き換えます。

特別損害 (名目的損害および懲罰的損害を含む)、道徳的損害、付随的損害、間接損害、およびその他の拡大損害。

仲裁: この見出しの下に以下を追加します。

本書に起因する、あるいは本書に関連した紛争は、紛争発生時に有効なフィリピンの法律に従ってフィリピン共和国首都マニラにおける仲裁により最終的に解決されるものとします。仲裁の裁定は最終的なものであり、異議申し立てなく当事者双方に対する拘束力を持つこととなります。そして、仲裁の裁定は書面にされ、事実認定と法律の結論とを記述します。

仲裁人は 3 名とし、紛争のそれぞれの側は 1 名の仲裁人を任ずる権利があります。当事者により任命される 2 名の仲裁人は、第 3 の仲裁人を任命し、この第 3 の仲裁人は仲裁手続きの議長を務めるものとします。議長のポストに空席が生じた場合は、議長は Philippine Dispute Resolution Center, Inc. の議長により指名されます。他の欠員が生じた場合、それぞれ指名権を持つ当事者の指名により、欠員を埋めるものとします。議事進行は、欠員が生じた時点における段階から継続するものとします。

当事者の一方が、他方が仲裁人を任命してから 30 日以内に自己の仲裁人を任命することを拒んだ場合、あるいは任命できなかった場合は、他方の側がそれを任じ、最初に任命された仲裁人が有効かつ適正に任命されたことを条件として、最初に任命された仲裁人が唯一の仲裁人になります。

すべての議事進行は、提示されたすべての文書を含め、英語で執り行われるものとします。この「保証の内容と制限」の英語版の効力は、他の言語版の「保証の内容と制限」よりも優先されます。

シンガポール

責任の制限: 5 番目の段落の第 3 項の『**SPECIAL**』 および 『**ECONOMIC**』 は、削除します。

ヨーロッパ、中東、およびアフリカ (EMEA) 地域

以下の事項がすべての **EMEA** 諸国に適用されます。

本書の各条項は、IBM または IBM ビジネス・パートナーより購入された機械に適用されます。

保証サービスの利用方法:

西ヨーロッパ (アンドラ、オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、モナコ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、バチカン市国、および本「保証の内容と制限」の送付日以降に EU に加盟したすべての国) に次の段落を追加します。西ヨーロッパで購入された機械の保証は、IBM がその国でかかる機械を発表し、かつ販売していることを条件に、すべての西ヨーロッパ諸国で有効であり、適用されます。

お客様が、機械を上記の西ヨーロッパ諸国で購入された場合は、お客様が保証サービスの提供を望む国で IBM がかかる機械を発表し販売していることを条件に、これらのいずれかの国においても、IBM により保証サービスを提供することが認められた IBM ビジネス・パートナーまたは現地の IBM より機械の保証サービスを受けることができます。

お客様が、パーソナル・コンピューター・マシンをアルバニア、アルメニア、ベラルーシ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、グルジア、ハンガリー、カザフスタン、キルギスタン、ユーゴスラビア連邦共和国、マケドニア共和国 (FYROM)、モルドバ、ポーランド、ルーマニア、ロシア、スロバキア共和国、スロベニア、またはウクライナで購入された場合は、これらのいずれの国においても IBM により保証サービスを提供することが認められた IBM ビジネス・パートナーまたは現地の IBM より機械の保証サービスを受けることができます。

お客様が機械を中近東またはアフリカ諸国で購入された場合、購入された国において IBM 法人が保証サービスを提供している場合は、当該 IBM 法人より、その機械に対する保証サービスを受けることができます。あるいは、その国でその機械に対して保証サービスを提供するよう IBM が認定した IBM ビジネス・パートナーより保証サービスを受けることができます。アフリカにおける保証サービスは、IBM により認可されたサービス提供者の所在地から 50 キロメートルの範囲内で利用することができます。IBM により認可されたサービス提供者の所在地から 50 キロメートルを超える場所では、機械の輸送費用をお客様が負担する責任を負います。

準拠法:

「機械を購入された国の法律」という句を、次のように置き換えます。

1) アルバニア、アルメニア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、グルジア、ハンガリー、カザフスタン、キルギスタン、マケドニア共和国、モルドバ、ポーランド、ルーマニア、ロシア、スロバキア、スロベニア、タジキスタン、トルクメニスタン、ウクライナ、ウズベキスタン、およびユーゴスラビア連邦共和国では、「オーストリアの法律」。2) アルジェリア、ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、カーボベルデ、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ、コンゴ共和国、ジブチ、コンゴ民主共和国、赤道ギニア、仏領ギアナ、仏領ポリネシア、ガボン、ガンビア、ギニア、ギニアビサオ、コートジ

ボアール、レバノン、マダガスカル、マリ、モーリタニア、モーリシャス、マヨット島、モロッコ、ニューカレドニア、ニジェール、レユニオン島、セネガル、セイシェル、トーゴ、チュニジア、バヌアツ、およびウォリス・フトーナでは、「フランスの法律」。3) エストニア、ラトビア、およびリトアニアでは、「フィンランドの法律」。4) アンゴラ、バーレーン、ボツワナ、ブルンジ、エジプト、エリトリア、エチオピア、ガーナ、ヨルダン、ケニア、クウェート、リベリア共和国、マラウィ、マルタ、モザンビーク、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、カタール、ルワンダ、サントメ、サウジアラビア、シエラレオネ、ソマリア、タンザニア、ウガンダ、アラブ首長国連邦、グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国(英国)、ヨルダン川西岸/ガザ地区、イエメン、ザンビア、およびジンバブエでは、「英国の法律」。および 5) 南アフリカ、ナミビア、レソト、およびスワジランドでは、「南アフリカの法律」。

裁判管轄権: 本条に以下の例外を追加します。

1) オーストラリアでは、本「保証の内容と制限」に起因する、または関連して生じるすべての紛争(本書の存在も含めて)は、オーストラリア、ウィーン(インナー・シティ)の管轄裁判所に委ねられます。2) アンゴラ、バーレーン、ボツワナ、ブルンジ、エジプト、エリトリア、エチオピア、ガーナ、ヨルダン、ケニア、クウェート、リベリア共和国、マラウィ、マルタ、モザンビーク、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、カタール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、サウジアラビア、シエラレオネ、ソマリア、タンザニア、ウガンダ、アラブ首長国連邦、ヨルダン川西岸/ガザ地区、イエメン、ザンビア、およびジンバブエでは、本「保証の内容と制限」に起因するすべての紛争、または本書の執行に関連したすべての紛争は、略式裁判手続きを含め、英国法廷の専属管轄権により処理されるものとします。3) ベルギーおよびルクセンブルグでは、本「保証の内容と制限」に起因するすべての紛争、または本書の解釈あるいは執行に関連したすべての紛争は、お客様の登録営業所所在地または営業地あるいはその両方の存在する国の首都の法律および法廷のみが管轄権を有します。4) フランス、アルジェリア、ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、カーボベルデ、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ、コンゴ共和国、ジブチ、コンゴ民主共和国、赤道ギニア、仏領ギアナ、仏領ポリネシア、ガボン、ガンビア、ギニア、ギニアビサオ、コートジボアール、レバノン、マダガスカル、マリ、モーリタニア、モーリシャス、マヨット島、モロッコ、ニューカレドニア、ニジェール、レユニオン島、セネガル、セイシェル、トーゴ、チュニジア、バヌアツ、およびウォリス・フトーナでは、本「保証の内容と制限」に起因するすべての紛争、または本書への違反または執行に関連したすべての紛争は、略式裁判手続きを含め、専らパリの商事裁判所により解決されるものとします。5) ロシアでは、本「保証の内容と制限」に起因するすべての紛争、または本書の解釈、違反、終了、執行の無効性に関連したすべての紛争はモスクワの仲裁裁判所によって解決されるものとします。6) 南アフリカ、ナミビア、レソトおよびスワジランドでは、本「保証の内容と制限」に関連するすべての紛争は、ヨハネスブルグの高等裁判所の管轄権に委ねられ処理されることに両当事者は同意するものとします。7) トルコでは、本「保証の内容と制限」に起因するすべての紛争、または本書に関連したすべての紛争は、トルコ共和国イスタンブールの Istanbul Central (Sultanahmet) Courts and Execution Directorates によって解決されるものとします。8) 次の国々では、本「保証の内容と制限」に起因するすべての法的申し立ては専ら以下に示した都市の管轄裁判所に提出され、解決されるものとします。a) ギリシャではアテネ、b) イスラエルではテルアビブ・ヤフォ、c) イタリアではミラノ、d) ポルトガルではリスボン、

そして e) スペインではマドリッド。9) 英国では、本「保証の内容と制限」に関連したすべての紛争は、英国法廷の裁判権に委ねられ処理されることに両当事者は同意するものとします。

仲裁: この見出しの下に以下を追加します。

アルバニア、アルメニア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、グルジア、ハンガリー、カザフスタン、キルギスタン、マケドニア共和国、モルドバ、ポーランド、ルーマニア、ロシア、スロバキア、スロベニア、タジキスタン、トルクメニスタン、ウクライナ、ウズベキスタン、およびユーゴスラビア連邦共和国では、本「保証の内容と制限」に起因する、または本書への違反行為、終了または無効性に関連したすべての紛争は、Rules of Arbitration and Conciliation of the International Arbitral Center of the Federal Economic Chamber in Vienna (ウィーン・ルール) の下で、このルールに従って任命された 3 人の仲裁人によって最終的に解決されるものとします。この仲裁は、オーストリアのウィーンで行なわれ、仲裁手続きの公用語は英語とします。仲裁人の裁定は最終的なものであり、当事者双方に対する拘束力を持つものとします。したがって、オーストリア民事訴訟法第 598 (2) 項に基づいて、当事者双方は同訴訟法第 595 (1) 項、図 7 の適用を明示的に放棄するものとします。ただし、IBM は機械が据付られた国の管轄裁判所に訴訟を起こす場合があります。エストニア、ラトビアおよびリトアニアでは、本「保証の内容と制限」に起因するすべての紛争は、紛争発生時に有効なフィンランドの仲裁法に従って、フィンランドのヘルシンキで行なわれる仲裁で最終的に解決されるものとします。各当事者は 1 人の仲裁人を任命するものとします。2 人の仲裁人は議長を任命します。両仲裁人が、議長について合意できない場合は、ヘルシンキの Central Chamber of Commerce が議長を任命するものとします。

EU

以下の事項が、すべての EU 諸国に適用されます。

EU 諸国で購入された機械の保証は、IBM がその国でかかる機械を発表し、かつ販売していることを条件に、すべての EU 諸国で有効であり、適用されます。

保証サービスの利用方法: 本条に次のように追加します。

EU 諸国において、IBM より保証サービスを受けるには、第 3 章の『保証について』のテレホン・リストを参照してください。

IBM の以下のアドレスに連絡を取ることもできます。

IBM Warranty & Service Quality Dept.

PO Box 30

Spango Valley

Greenock

Scotland PA16 0AH

消費者

消費者は、各国の売買に関する消費者保護法に基く権利を有します。本「保証の内容と制限」に規定する保証は、かかる消費者の権利を変更するものではありません。

オーストリア、デンマーク、フィンランド、ギリシャ、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデンおよびスイス

責任の制限: 本条の文を次のように置き換えます。

別途強行法規が定める場合を除き、次のとおりとします。

1. 本「保証の内容と制限」に規定される、または本書に関連する IBM の義務の履行の結果生じる、または本書に関連したその他の原因によって生じるいかなる損害および損失に対する IBM の責任は、かかる義務の不履行 (IBM に過失がある場合) またはかかる原因により現実に発生した通常かつ直接の損害に対する、お客様が機械に支払った売買価格相当額を限度額とする金銭賠償責任に限定されます。この条項において「機械」には、機械コードおよびライセンス内部コード (LIC) を含みます。
上記の制限は、法的に IBM の責に帰する生命・身体または有体物に対する賠償責任には適用されません。
2. いかなる場合においても、**IBM および IBM のサプライヤーならびに IBM ビジネス・パートナー**は、その予見の有無を問わず発生した以下のものについて賠償責任を負いません。1) お客様のデータの喪失、または損傷、2) 付随的損害または間接損害およびその他の拡大損害、3) 逸失した利益 (たとえ、損害を発生させた事象の直接的結果として発生したものであっても) あるいは、4) 逸失したビジネス、収益、信用、節約すべかりし費用。

フランスおよびベルギー

責任の制限: 本条の文を次のように置き換えます。

別途強行法規が定める場合を除き、次のとおりとします。

1. 本「保証の内容と制限」に規定される、または本書に関連する IBM の義務の履行の結果生じるいかなる損害および損失に対する IBM の責任は、かかる義務の不履行 (IBM に過失がある場合) により現実に発生した通常かつ直接の損害に対するお客様が損害の原因となった機械の購入時に支払われた売買価格相当額を限度額とする金銭賠償責任に限定されます。この条項において「機械」には、機械コードおよびライセンス内部コード (LIC) を含みます。
上記の制限は、法的に IBM の責に帰する生命・身体または有体物に対する賠償責任には適用されません。
2. いかなる場合においても、**IBM および IBM のサプライヤーならびに IBM ビジネス・パートナー**は、その予見の有無を問わず発生した以下のものについて賠償責任を負いません。1) お客様のデータの喪失、または損傷、2) 付随的損害または間接損害およびその他の拡大損害、3) 逸失した利益 (たとえ、損害を発生させた事象の直接的結果として発生したものであっても) あるいは、4) 逸失したビジネス、収益、信用、節約すべかりし費用。

次に指定されている国には、以下の事項が適用されます。

オーストリア

本「保証の内容と制限」の規定は、適用可能なすべての法的保証に置き換わるものです。

本保証の適用対象: 本条の最初の段落の最初の文を次のように置き換えます。

IBM 機械に対する保証は、機械の通常使用に対する機能および機械の仕様の合致を保証するものです。

本条に次の段落を追加します。

保証不履行に対する訴訟中の消費者への保証期間は最小限、法定期間とします。

IBM または IBM ビジネス・パートナーが機械を修理できない場合、お客様は IBM に対して修理できない機械の対価を換算し、そこから算定される金額を一部返金と

して要求すること、または、当該機械に対する契約を解除し、支払済みの代金の返金を要求することができます。

2 番目の段落は適用されません。

問題を解決するために IBM が行うこと: 本条に次の事項を追加します。

保証期間中の故障した機械の IBM への輸送費用を IBM が弁済するものとします。

責任の制限: 本条に次の段落を追加します。

本条に基づく損害賠償責任の制限は、IBM の不法行為または重過失の場合および明示保証には適用されません。

次の文を第 2 項の最後に追加します。

本項の損害賠償責任は、IBM による通常の過失に基づく重要な契約条件の違反の場合に限ります。

エジプト

責任の制限: 本条の第 2 項を次のように置き換えます。

お客様に現実に発生した通常かつ直接の損害に対し、損害発生の直接原因となった機械の支払済みの総額を限度額とする金銭賠償責任。この条項において「機械」には、機械コードおよびライセンス内部コード (LIC) を含みます。

IBM ビジネス・パートナーに対する条件は変更ありません。

フランス

責任の制限: 本条の最初の段落の 2 番目の文を次のように置き換えます。

お客様が損害に対して救済を求める場合、IBM の賠償責任は請求の原因を問わず、次の各号に定めるものを上限とします。(第 1 項および第 2 項は変更ありません。)

ドイツ

本保証の適用対象: 本条の最初の段落の最初の文を次のように置き換えます。

IBM 機械に対する保証は、機械の通常使用に対する機能および機械の仕様の合致を保証するものです。

本条に次の段落を追加します。

機械に対する最低保証期間は 12 か月です。IBM または IBM ビジネス・パートナーが機械を修理できない場合、お客様は IBM に対して修理できない機械の対価を換算し、そこから算定される金額を一部返金として要求すること、または、当該機械に対する契約を解除し、支払済みの代金の返金を要求することができます。

2 番目の段落は適用されません。

問題を解決するために IBM が行うこと: 本条に次の事項を追加します。

保証期間中の機械の IBM 所定のサービス・センターへの輸送は、IBM の負担にて行います。

責任の制限: 本条に次の段落を追加します。

本条に基づく損害賠償責任の制限は、IBM の不法行為または重過失の場合および明示保証には適用されません。

次の文を第 2 項の最後に追加します。

本項の損害賠償責任は、IBM による通常の過失に基づく重要な契約条件の違反の場合に限ります。

ハンガリー

責任の制限: 本条の最後に次のように追加します。

本条に規定された制限と適用除外は、故意、重大な過失または犯罪行為により引き起こされた、生命または身体の健康を損なう契約不履行には適用されません。

両当事者は、この責任の制限を有効な条項として受け入れ、本「保証の内容と制限」からお客様が享受する便益が責任の制限と均衡していること、および、責任の制限としての売買価格相当額にハンガリーの民法第 314.(2) 項が適用されるものであることを表明します。

アイルランド

本保証の適用対象: 本条に次の段落を追加します。

本書で明示的に規定する場合を除き、Sale of Goods Act 1893 または Sale of Goods and Supply of Services Act 1980 に基づく黙示の保証、およびその他のいかなる黙示の保証を含む法的な保証責任に代わるものとしします。

責任の制限: 本条の文を次のように置き換えます。

本条において、IBM の責に帰すべき事由には、契約上の行為であるか不法行為であるかにかかわらず、「保証の内容と制限」に関連し、お客様に対して IBM が法的責任を負うべき IBM 側の行為、声明、懈怠、または過失が含まれます。実質的同一の損失または損害という結果を生じさせ、あるいはこれに寄与する複数の IBM の帰責事由は、それらの中で最後に発生した日付で発生した 1 つの IBM の帰責事由として処理されます。

IBM の責に帰すべき事由に基づく損害に対して、お客様が IBM に救済を求める状況が発生する場合があります。

本条では IBM の責任範囲を規定し、お客様の救済策は以下に限定されます。

1. IBM は、IBM の過失により引き起こされた死亡または身体傷害については無限責任を負うものとしします。
2. 下記の IBM が責任を負わない項目を前提として、IBM は、IBM の過失の結果生じたお客様の有形固定資産への物的損害に対しては無限責任を負います。
3. 上記の第 1 項および第 2 項の規定を除き、1 件の IBM の責に帰すべき事由に基づき現実に発生した損害に対する IBM の責任は、1) 125,000 EUR または 2) 損害の直接原因となった機械にお客様が支払った売買価格の 125% 相当額のいずれか高い方の金額を限度額とする金銭賠償責任に限られます。

IBM が責任を負わない項目

上記の第 1 項に記載された責任を除き、いかなる場合にあいても、IBM および IBM のサプライヤーならびに IBM ビジネス・パートナーは、その予見の有無を問わず発生した以下のものについては責任を負いません。

1. データの喪失、または損傷。
2. 特別損害、間接損害、またはその他の拡大損害。
3. 逸失した利益、ビジネス、収益、信用、節約すべかりし費用。

スロバキア

責任の制限: 最後の段落の後に次のように追加します。

この制限は、スロバキアの商法 §§ 373-386 により禁止される場合を除き適用されるものとしします。

南アフリカ、ナミビア、ボツワナ、レソト、スワジランド

責任の制限: 本条に次のように追加します。

本「保証の内容と制限」内容に関し、IBM の不履行を含めたあらゆる状況で、お客様に現実に発生した損害に対する IBM の責任は、損害発生の直接原因となった機械にお客様が支払った売買価格相当額を限度とする金銭賠償責任に限ります。

グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国 (英国)

責任の制限: 本条の文を次のように置き換えます。

本条において、IBM の責に帰すべき事由には、契約上の行為であるか不法行為であるかにかかわらず、「保証の内容と制限」に関連し、お客様に対して IBM が法的責任を負うべき IBM 側の行為、声明、懈怠、または過失が含まれます。実質的に、同一の損失または損害を生じさせ、あるいはこれに寄与する複数の IBM の帰責事由は、1 つの IBM の帰責事由として処理されます。

IBM の責に帰すべき事由に基づく損害に対して、お客様が IBM に救済を求める状況が発生する場合があります。

本条では IBM の責任範囲を規定し、お客様の救済策は以下に限定されます。

1. IBM は以下のものについては無限責任を負います。
 - a. IBM の過失により引き起こされた死亡または身体傷害。
 - b. Sale of Goods Act 1979 の第 12 条または Supply of Goods and Services Act 1982 の第 2 条に定める黙示の責任違反。
2. 下記の IBM が責任を負わない項目を前提として、IBM は、IBM の過失の結果生じたお客様の有形固定資産への物的損害に対しては無限責任を負います。
3. 上記の第 1 項および第 2 項の規定を除き、1 件の IBM の責に帰すべき事由に基づき現実に発生した損害に対する IBM の責任は、いかなる場合も 1) 75,000 スターリング・ポンド、または 2) 損害の直接原因となった機械にお客様が支払った売買価格または費用の 125% 相当額のいずれか高いほうの金額を限度額とする金銭賠償責任に限られます。

これらの制限は、IBM のサプライヤーおよび IBM ビジネス・パートナーにも適用されます。これらの制限は、IBM および IBM のサプライヤーならびにビジネス・パートナーが共同で責任を負う最大賠償額を示します。

IBM が責任を負わない項目

上記の第 1 項に記載された責任は除き、いかなる場合においても、IBM および IBM のサプライヤーならびに IBM ビジネス・パートナーは、その予見の有無を問わず発生した以下のものについては賠償責任を負いません。

1. データの喪失、または損傷。
2. 特別損害、間接損害、またはその他の拡大損害。
3. 逸失した利益、ビジネス、収益、信用、節約すべかりし費用。

第 3 章 - 保証情報

第 3 章は、保証期間、および IBM が提供する保証サービスの種類を含めて、本機械に適用される保証についての情報を規定します。

保証期間

保証期間は、国または地域によって異なり、下記の表で指定されます。注: 地域とは中国の香港もしくはマカオ特別行政区を意味します。保証期間に「1 年オンサイト 1 年部品保証」と記載された機械については、保証期間 1 年目の部品および保守作業は無償になります。

マシン・タイプ	機械を購入した国または地域	保証期間	保証サービスの種類
USB 2.0 メモリー・キー	全世界	オンサイトおよび部品 1 年	7

保証サービスの種類

必要に応じて、IBM は、上記の表で機械に指定された保証サービスの種類に応じて、下記に記述する通りに修理または交換サービスを提供します。保証サービスは、IBM ビジネス・パートナー (IBM より保証サービスを実行することが認定されている場合に限り) によって提供される場合があります。サービスのご提供日時は、お客様のお問い合わせの時間、および部品の在庫状況によって異なります。サービスのレベルは、目標応答時間で設定されますが、保証されるものではありません。指定された保証サービスのレベルは、世界中のすべての地域で利用可能であるとは限りません。IBM の通常のサービス地域以外では追加料金がかかる場合があります。国および地域に固有の情報については、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせください。

1. カスタマー交換可能ユニット (CRU: Customer Replaceable Unit) サービス

IBM はお客様がご自身で導入できるように交換用 CRU をお客様に出荷します。CRU についての情報および交換手順のご案内は機械と一緒に出荷されます。また、お客様はこれらをいつでも IBM に要求し、入手することができます。IBM が Tier 1 と指定する CRU の導入はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で導入することができますが、対象の機械に関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に導入を要求することもできます。IBM は、取り外した (故障した) CRU を IBM に返却する必要があるかどうかを交換用 CRU に同梱される資料に指定するものとします。返却が必要な場合は、1) 返却の指示および返送用梱包材が交換用 CRU と一緒に出荷され、2) お客様が、故障した CRU を交換用 CRU の受領から 30 日以内に返却しない場合、IBM は交換用 CRU の代金を請求させていただきます。

2. オンサイト・サービス (IOS: IBM Onsite Service)

IBM または IBM ビジネス・パートナーが、お客様の機械設置場所で機械の修理または交換を行い、機械の動作を検証します。お客様は、IBM 機械の分解および再組み立てを行うことができる適切な作業場を提供する必要があります。作業場は、清潔で明るく、分解および再組み立てに適した場所であればなりません。機械によっては、修理のために、機械を IBM サービス・センターに送付する必要がある場合があります。

3. クーリエ・サービス (ICS: IBM Courier Service) *

お客様は、IBM が手配した引き取りサービスのために、故障した機械の接続をはずします。IBM は、IBM が指定するサービス・センターにお客様が機械を送送するための輸送用コンテナを提供します。宅配業者が機械を回収し、指定されたサービス・センターに配送します。修理または交換後、IBM は、お客様の機械設置場所に機械を返送する手配をします。返送された機械の取り付けと検証は、お客様の責任となります。

4. 持ち込みまたは郵送サービス

お客様は、IBM が指定する方法で (別途 IBM が定める場合を除き、送料前払いで)、適切に梱包された機械を、IBM が指定する場所に配送または郵送します。IBM は、機械を修理または交換した後、お客様が回収できるようにします。郵送サービスの場合、IBM は、別途 IBM が定める場合を除き、IBM の費用負担で機械をお客様に返送します。受領後の機械の取り付けおよび検証は、お客様の責任で行います。

5. CRU + オンサイト・サービス

この種類の保証サービスは、上記 1 と 2 を組み合わせたものです (上記を参照)。

6. CRU + クーリエ・サービス

この種類の保証サービスは、上記 1 と 3 を組み合わせたものです (上記を参照)。

7. CRU + 持ち込みまたは郵送サービス

この種類の保証サービスは、上記 1 と 4 を組み合わせたものです (上記を参照)。

保証サービスの種類 5、6、または 7 が列挙されている場合、修理に際しどの保証サービスの種類が該当するかは IBM が決定するものとします。

* 一部の国では、このタイプのサービスは、ThinkPad® EasyServ または EasyServ と呼ばれます。IBM Machine Warranty WWW サイト

http://www.ibm.com/servers/support/machine_warranties/ には、全世界での『保証の内容と制限』の概要、IBM 定義の用語集、FAQ (よく尋ねられる質問)、および製品ごとのサポート情報へのリンクがある製品別サポートが掲載されています。上記のサイトでは、IBM の『保証の内容と制限』が、29 カ国語で表示されます。

保証サービスを受ける場合には、IBM または IBM ビジネス・パートナーにご連絡ください。カナダまたはアメリカ合衆国では、1-800-IBM-SERV (426-7378) に電話してください。EU 諸国では、下記の電話番号を参照してください。

国または地域	電話番号	国または地域	電話番号
アフリカ	+44 (0) 1475 555 055	日本	デスクトップ: 0120-887-870 • 海外から: 81-46-266-1084 ThinkPad: 0120-887-874 • 海外から: 81-46-266-1084 IntelliStation および xSeries: 81-46-266-1358 PC ソフトウェア: 0120-558-695 • 海外から: 81-44-200-8666
アルゼンチン	0800-666-0011	ルクセンブルグ	298-977-5063
オーストラリア	131-426	マレーシア	(60) 3-7727-7800
オーストリア	01-24592-5901	メキシコ	001-866-434-2080
ボリビア	0800-0189	中東諸国	+44 (0) 1475 555 055
ベルギー	オランダ語: 02-210 9820 フランス語: 02-210 9800	オランダ	020-514 5770
ブラジル	55-11-3889-8986	ニュージーランド	0800-446-149
カナダ	英語: 1-800-565-3344 フランス語: 1-800-565-3344 トロント市内: 416-383-3344	ニカラグア	255-6658
チリ	800-224-488	ノルウェー	66 81 11 00
中国	800-810-1818	パナマ	206-6047
中国 (香港および S.A.R.)	家庭用 PC: 852-2825-7799 業務用 PC: 852-8205-0333	ペルー	0-800-50-866
コロンビア	980-912-3021	フィリピン	(63) 2-995-2225
コスタリカ	284-3911	ポルトガル	21-892-7147
デンマーク	45 20 82 00	ロシア	095-940-2000

国または地域	電話番号	国または地域	電話番号
ドミニカ共和国	566-4755 または 566-5161 内線 8201 ドミニカ共和国内の フリーダイヤル: 1-200-1929	シンガポール	(65) 1-800-840-9911
エクアドル	1-800-426911 (オプシ ョン #4)	スペイン	91-714-7983
エルサルバドル	250-5696	スウェーデン	08-477 4420
フィンランド	09-459 69 60	スイス	058-333-0900
フランス	02 38 55 74 50	台湾	886-2-8723-9799
ドイツ	07032-1549 201	タイ	(66) 2-273-4000
グアテマラ	335-8490	トルコ	00-800-446-32-041
ホンジュラス	テグシガルパおよび サンペドロスラ: 232-4222 サンペドロスラ: 552-2234	英国	0-1475-555 055
インド	1600-44-6666	米国	1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378)
インドネシア	(62) 21-523-8535	ウルグアイ	000-411-005-6649
アイルランド	01-815-9202	ベネズエラ	0-800-100-2011
イタリア	02-7031-6101	ベトナム	ホーチミン: (84) 8-829-5160 ハノイ: (84) 4-843-6675

Guarantee supplement for Mexico

This supplement is considered part of IBM's Statement of Limited Warranty and shall be effective solely and exclusively for products distributed and commercialized within Territory of the Mexican United States. In the event of a conflict, the terms of this supplement shall apply.

All software programs pre-loaded in the equipment shall only have a thirty- (30) day guarantee for installation defects from the date of purchase. IBM is not responsible for the information in such software programs and/or any additional software programs installed by you or installed after purchase of the product.

Services not chargeable to the guarantee shall be charged to the final user, prior an authorization.

In the event that warranty repair is required please call the IBM Support Center at 001-866-434-2080, where you will be directed to the nearest Authorized Service Center. Should no Authorized Service Center exist in your city, location or within 70 kilometers of your city or location, the guarantee includes any reasonable delivery charges related to the transportation of the product to our nearest Authorized Service Center. Please call the nearest Authorized Service Center to obtain the necessary approvals or information concerning the shipment of the product and the shipment address.

To obtain a list of Authorized Service Centers, please visit:
http://www.pc.ibm.com/la/centros_de_servicio/servicio_mexico/servicio_mexico.html

Manufactured by:

SCI Systems de México, S.A. de C.V.
Av. De la Solidaridad Iberoamericana No. 7020
Col. Club de Golf Atlas
El Salto, Jalisco, México
C.P. 45680,
Tel. 01-800-3676900

Marketing by:

IBM de México, Comercialización y
Servicios, S. A. de C. V.
Alfonso Nápoles Gándara No 3111
Parque Corporativo de Peña Blanca
Delegación Álvaro Obregón
México, D.F., México
C.P. 01210,
Tel. 01-800-00-325-00

付録 C. Guarantee supplement for Mexico

This supplement is considered part of IBM's Statement of Limited Warranty and shall be effective solely and exclusively for products distributed and commercialized within Territory of the Mexican United States. In the event of a conflict, the terms of this supplement shall apply.

All software programs pre-loaded in the equipment shall only have a thirty- (30) day guarantee for installation defects from the date of purchase. IBM is not responsible for the information in such software programs and/or any additional software programs installed by you or installed after purchase of the product.

Services not chargeable to the guarantee shall be charged to the final user, prior an authorization.

In the event that warranty repair is required please call the IBM Support Center at 001-866-434-2080, where you will be directed to the nearest Authorized Service Center. Should no Authorized Service Center exist in your city, location or within 70 kilometers of your city or location, the guarantee includes any reasonable delivery charges related to the transportation of the product to our nearest Authorized Service Center. Please call the nearest Authorized Service Center to obtain the necessary approvals or information concerning the shipment of the product and the shipment address.

To obtain a list of Authorized Service Centers, please visit:
http://www.pc.ibm.com/la/centros_de_servicio/servicio_mexico/servicio_mexico.html

Manufactured by:

**SCI Systems de México, S.A. de C.V.
Av. De la Solidaridad Iberoamericana No. 7020
Col. Club de Golf Atlas
El Salto, Jalisco, México
C.P. 45680,
Tel. 01-800-3676900**

Marketing by:

**IBM de México, Comercialización y
Servicios, S. A. de C. V.
Alfonso Nápoles Gándara No 3111
Parque Corporativo de Peña Blanca
Delegación Álvaro Obregón
México, D.F., México
C.P. 01210,
Tel. 01-800-00-325-00**

付録 D. Notices

IBM may not offer the products, services, or features discussed in this document in all countries. Consult your local IBM representative for information on the products and services currently available in your area. Any reference to an IBM product, program, or service is not intended to state or imply that only that IBM product, program, or service may be used. Any functionally equivalent product, program, or service that does not infringe any IBM intellectual property right may be used instead. However, it is the user's responsibility to evaluate and verify the operation of any non-IBM product, program, or service.

IBM may have patents or pending patent applications covering subject matter described in this document. The furnishing of this document does not give you any license to these patents. You can send license inquiries, in writing, to:

*IBM Director of Licensing
IBM Corporation
North Castle Drive
Armonk, NY 10504-1785
U.S.A.*

INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATION PROVIDES THIS PUBLICATION 『AS IS』 WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Some jurisdictions do not allow disclaimer of express or implied warranties in certain transactions, therefore, this statement may not apply to you.

This information could include technical inaccuracies or typographical errors. Changes are periodically made to the information herein; these changes will be incorporated in new editions of the publication. IBM may make improvements and/or changes in the product(s) and/or the program(s) described in this publication at any time without notice.

The products described in this document are not intended for use in implantation or other life support applications where malfunction may result in injury or death to persons. The information contained in this document does not affect or change IBM product specifications or warranties. Nothing in this document shall operate as an express or implied license or indemnity under the intellectual property rights of IBM or third parties. All information contained in this document was obtained in specific environments and is presented as an illustration. The result obtained in other operating environments may vary.

IBM may use or distribute any of the information you supply in any way it believes appropriate without incurring any obligation to you.

Any references in this publication to non-IBM Web sites are provided for convenience only and do not in any manner serve as an endorsement of those Web sites. The materials at those Web sites are not part of the materials for this IBM product, and use of those Web sites is at your own risk.

Any performance data contained herein was determined in a controlled environment. Therefore, the result obtained in other operating environments may vary significantly. Some measurements may have been made on development-level systems and there is no guarantee that these measurements will be the same on generally available systems. Furthermore, some measurements may have been estimated through extrapolation. Actual results may vary. Users of this document should verify the applicable data for their specific environment.

Trademarks

The following terms are trademarks of International Business Machines Corporation in the United States, other countries, or both:

IBM
IBM logo
ThinkPad

Microsoft, Windows, and Windows NT are trademarks of Microsoft Corporation in the United States, other countries, or both.

Pentium is a trademark of Intel Corporation in the United States, other countries, or both.

Other company, product, or service names may be trademarks or service marks of others.

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult an IBM authorized dealer or service representative for help.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Proper cables and connectors are available from IBM authorized dealers. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible party:

International Business Machines Corporation
New Orchard Road
Armonk, NY 10504
Telephone: 1-919-543-2193



Tested To Comply
With FCC Standards

FOR HOME OR OFFICE USE

Industry Canada Class B emission compliance statement

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité a la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Deutsche EMV-Direktive (electromagnetische Verträglichkeit)

Zulassungsbeseinigunglaut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) vom 30. August 1995 (bzw. der EMC EG Richtlinie 89/336):

Dieses Gerät ist berechtigt in Übereinstimmungmit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen. Verantwortlich für die Konformitätserklärung nach Paragraph 5 des EMVG ist die:

IBM Deutschland Informationssysteme GmbH, 70548 Stuttgart.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraph 3 Abs. (2) 2:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024:1998 und EN 55022:1998 Klasse B.
--

EN 55022 Hinweis:

『Wird dieses Gerät in einer industriellen Umgebung betrieben (wie in EN 55022:B festgelegt), dann kann es dabei eventuell gestört werden. In solch einem FA11 ist der Abstand bzw. die Abschirmungzu der industriellen Störquelle zu vergrößern.』

Anmerkung:

Um die Einhaltung des EMVG sicherzustellen sind die Geräte, wie in den IBM Handbüchern angegeben, zu installieren und zu betreiben.

European Union - emission directive

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 89/336/ECC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility.

IBM can not accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class B Information Technology Equipment according to European Standard EN 55022. The limits for Class B equipment were derived for typical residential environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication devices.

Union Européenne - Directive Conformité électromagnétique

Ce produit est conforme aux exigences de protection de la Directive 89/336/EEC du Conseil de l'UE sur le rapprochement des lois des États membres en matière de compatibilité électromagnétique.

IBM ne peut accepter aucune responsabilité pour le manquement aux exigences de protection résultant d'une modification non recommandée du produit, y compris l'installation de cartes autres que les cartes IBM.

Ce produit a été testé et il satisfait les conditions de l'équipement informatique de Classe B en vertu de Standard européen EN 55022. Les conditions pour l'équipement de Classe B ont été définies en fonction d'un contexte résidentiel ordinaire afin de fournir une protection raisonnable contre l'interférence d'appareils de communication autorisés.

Unione Europea - Directiva EMC (Conformidad electromagnética)

Este producto satisface los requisitos de protección del Consejo de la UE, Directiva 89/336/CEE en lo que a la legislación de los Estados Miembros sobre compatibilidad electromagnética se refiere.

IBM no puede aceptar responsabilidad alguna si este producto deja de satisfacer dichos requisitos de protección como resultado de una modificación no recomendada del producto, incluyendo el ajuste de tarjetas de opción que no sean IBM.

Este producto ha sido probado y satisface los límites para Equipos Informáticos Clase B de conformidad con el Estándar Europeo EN 55022. Los límites para los equipos de Clase B se han establecido para entornos residenciales típicos a fin de proporcionar una protección razonable contra las interferencias con dispositivos de comunicación licenciados.

Union Europea - Normativa EMC

Questo prodotto è conforme alle normative di protezione ai sensi della Direttiva del Consiglio dell'Unione Europea 89/336/CEE sull'armonizzazione legislativa degli stati membri in materia di compatibilità elettromagnetica.

IBM non accetta responsabilità alcuna per la mancata conformità alle normative di protezione dovuta a modifiche non consigliate al prodotto, compresa l'installazione di schede e componenti di marca diversa da IBM.

Le prove effettuate sul presente prodotto hanno accertato che esso rientra nei limiti stabiliti per le apparecchiature di informatica Classe B ai sensi della Norma Europea EN 55022. I limiti delle apparecchiature della Classe B sono stati stabiliti al fine di fornire ragionevole protezione da interferenze mediante dispositivi di comunicazione in concessione in ambienti residenziali tipici.

이 기기는 가정용으로 전자파 적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づきクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

Japanese statement of compliance for products less than or equal to 20 A per phase

高調波ガイドライン適合品



部品番号: 22P9239

(1P) P/N: 22P9239



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12